

# 第2期萩市総合戦略 令和6年度効果検証

萩市総合政策部企画政策課

1	だれもが生きいきと暮らせるまちづくり	1
	①持続可能な医療体制の構築	1
	②地域ぐるみの助け合い「地域包括ケアシステム」の深化・推進	2
	③青年期から高齢期に至るまでの健康の維持増進	3
	④障がい者の社会参加の促進	4
	⑤安心して質の高いサービスの確保	5
	⑥その他全般的事項	6
2	子育ての幸せが実感できるまちづくり	7
	①妊娠・出産・子育て環境の充実	7
	②子どもたちの笑顔があふれる居場所づくり	8
	③仕事と子育ての両立支援	8
	④出会い・結婚サポートの充実	9
3	未来を担うひとを育むまちづくり	10
	①「志」教育の推進	10
	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成	11
	③地域とともにある学校づくりの推進	11
	④萩の未来を支える教育機会の充実	12
	⑤その他全般的事項	12
4	産業活力があふれるまちづくり	13
	①地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生	13
	②起業・創業と企業誘致の推進	14
	③企業人材の育成と雇用拡大の支援	14
	④力強い農林水産業の推進	15
	⑤地域産業の担い手・後継者育成	16
	⑥地域経済の発展を加速化する高速道路ネットワークの形成	18
	⑦その他全般的事項	18

5	魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	19
	①全国に誇る萩のまちなみの継承	19
	②文化財の保存と活用による萩のにぎわいづくり	20
	③文化のおたから、自然のおたから、産業のおたからの再発見・継承	21
	④萩ジオパーク構想の推進	21
	⑤観光地経営の視点に立った観光地域づくりの推進	22
	⑥観光客誘致の積極展開	23
	⑦その他全般的事項	24
6	生活基盤の充実した住みよいまちづくり	25
	①暮らしに密着した交通網の形成	25
	②生活サービス機能の維持・向上	26
	③持続可能で快適な環境づくり	27
	④防災体制の強化	28
	⑤地球にやさしい環境づくり	29
7	だれからも愛されるまち、求められるまちづくり	30
	①市民との協働による元気なコミュニティづくり	30
	②萩の魅力をいかした移住・定住	31
	③市民一人ひとりが輝くまちづくり	32
	④地域の特色をいかしたまちづくり	33
	⑤魅力ある離島の発展	34
	⑥DXによる幸せなまちづくり	35
	⑦その他全般的事項	36

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)				
1  だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	KGI：市民満足度の向上		向上	-	28.7%	30.8%	27.8%						
	KGI：市民満足度の向上（満足されていない方の割合）		10.0%	16.3%			18.6%	22.5%	12.5%				
	※第3期萩市総合戦略の策定に当たりR5年度実績により検証を行ったため、R5年度で終了												
	【KGI分析】令和5年度には目標値の10%に対して22.5%となった。この項目は、主には医療、介護、福祉、健康に関する施策の満足度を測るものである。指標は10%台半ばから20%台前半であるが、個別の項目では、「持続可能な医療体制の構築」の項目（R2:26.5%→R5:42.2%）や、「安心で質の高いサービスの確保」の項目（R2:22.7%→R5:29.4%）については高めに推移している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、医療・健康への関心が高まる中、高齢化の進行や、人口減少による医療従事者不足に伴う医療に対する不安のほか、広大な面積を有する萩市においては、中山間地域や離島における地域医療体制への不安が、満足していない指標として表れたのではないかと考えられることから、引き続き、持続可能な医療体制の構築に向けて取り組むとともに、健康寿命の延伸など健康に関する施策や医療従事者等の確保を進めていく。												
	①持続可能な医療体制の構築												
	KPI①：萩・阿武健康ダイヤル24利用件数（年間）		3,100件	1,555件	2,161件	3,071件	4,615件	3,939件	4,140件		1,040件	【KPI①】相談件数は目標値を大きく上回っている。様々な機会にダイヤル24利用の周知も行っており、今後も継続して、救急医療に関わる医療従事者の負担軽減を図っていく。  【KPI②】令和7年は新規救急救命士を1名養成する。目標数は達しているが、年齢や管理職への昇格により現場活動が困難になる隊員もいるため、継続的に救急救命士の養成に向けて取り組んで行く。	
	KPI②：高度救命処置を実施できる救急救命士の養成数		33人	28人	28人	30人	34人	34人	33人		0人		
	主 な 取 組	萩保健医療圏における中核病院の形成											
		・中核病院形成に向けた検討、協議 ⇒ 萩市民病院と都志見病院との統合による中核病院の形成を目指し、基本合意に向けた協議、調整を行った。											
		市民病院、市立診療所の運営管理・設備の維持・確保											
		・市民病院の運営管理 ⇒ 地域の急性期医療の中心を担う公立病院として二次救急医療をはじめ、地域住民に必要な医療サービスの提供を行った。 ・市立診療所の運営管理 ⇒ 患者数の減少や医療従事者の不足など診療所の運営は厳しくなっており、グループ化や集約化等、体制見直しを検討している。											
		救急医療体制の確保											
	・一次救急の維持 ⇒ 在宅当番医制及び休日急患診療センターの運営により、一次救急の維持を図った。 ・二次救急の維持 ⇒ 救急病院の輪番制により二次救急を維持した。												

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
1  だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	②地域ぐるみの助け合い「地域包括ケアシステム」の深化・推進										
	KPI①：認知症サポーターの養成数（累計）		10,000人	8,311人	8,840人	8,962人	9,296人	9,571人	9,994人	-06人	【KPI①】「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」の目的や基本理念に沿って、認知症施策を推進した。介護予防に関する啓発活動や、認知症サポーター養成講座など認知症支援事業を実施した。認知症の人の支援や地域づくりの推進を担う住民ボランティア等も着実に増えている。  【KPI②】計画策定時に設定した目標は、通所型・訪問型ともに達成した。令和7年度には、2地域で地域ささえあい協議体が立ち上がり、住民主体のサービスが実施される予定である。今後も、各生活圏域において必要な生活支援サービスが提供できるよう、地域ささえあい推進員や協議体を通じて、継続的な支援を行う。
	KPI②-1：住民主体によるサービス提供団体数 通所型		17箇所	13箇所	15箇所	16箇所	16箇所	16箇所	16箇所	-1箇所	
	KPI②-2：住民主体によるサービス提供団体数 訪問型		11箇所	9箇所	10箇所	11箇所	11箇所	11箇所	13箇所	2箇所	
	主 な 取 組	介護予防と認知症支援の推進									
		・一般介護予防 ⇒ 地域で自立した生活を送ることができるように、フレイルに早く気づき、日常生活の中で予防に自ら取り組めるよう、介護予防についての普及啓発を行った。 ・認知症施策の推進 ⇒ 認知症の人の本人発信支援やその家族の支援、見守り体制など、認知症の人の意思が尊重され、よりよい環境で暮らすことができる地域づくりを推進した。									
		すべての人への権利擁護支援									
		・萩市権利擁護支援センターの運営 ⇒ 権利擁護支援の総合相談窓口として、萩市権利擁護支援センターを運営した。 ・権利擁護支援体制の充実 ⇒ 萩市権利擁護支援センターを中核機関とし、権利擁護支援の地域連携ネットワークを活用した支援を行った。									
		地域の支え合い活動の推進									
		・地域ささえあい推進員の配置 ⇒ 地域の生活支援サービス提供体制づくりを支援した。 ・地域ささえあい協議体の設置 ⇒ 地域の生活支援サービス提供に向けた情報共有及び連携強化の場を設置した。 ・住民主体の生活支援環境整備 ⇒ 住民主体の高齢者生活支援サービスを実施する団体を支援した。									
	高齢者等公共交通利用困難者への移動支援										
	・交通空白地域外出支援サービス ⇒ 公共交通機関から遠距離にある地域及び離島における高齢者等の外出支援サービスを実施した。 ・大島地区高齢者等外出支援サービス ⇒ 市の公用車を貸与して町内会の運行により渡船場までの送迎を行った。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	③青年期から高齢期に至るまでの健康の維持増進											
	KPI①-1：健康寿命 男	79.80歳	78.87歳	79.93歳	79.37歳	79.6歳	79.25歳	79.08歳	-0.72歳	【KPI①、②】健康寿命の延伸に向けて、生活習慣病予防と重症化予防のため節塩運動に取り組んだ。地域における健康教室や健康フェア等では感染症対策を行い、住民へのアプローチを実施した。今後も働き盛り世代への健康づくりの動機付けとして、やまぐち健幸アプリの登録の推進や健康栄養相談の場を利用し、循環器病対策への働きかけを行う。  【KPI③】がん検診の受診率向上を目指しポスター掲示や周知活動を行った。胃がん検診については受診率が低下したが、大腸がん健診については上昇した。今後も働き盛り世代へのがん検診の周知の徹底を図るとともに費用への支援を継続し、受診率の向上に努める。  【KPI④】特定健康診査受診率は、目標値には到達していないが、健診未受診者への受診勧奨事業、みなし健診や多職種連携により、受診率は上昇している。今後も引き続き受診勧奨事業に加え、医療機関と連携し、受診率の向上を図っていく。		
	KPI①-2：健康寿命 女	84.36歳	83.74歳	83.11歳	82.64歳	85.34歳	83.54歳	84.28歳	-0.08歳			
	KPI②：糖尿病患者の割合（50歳代）	6.5%	8.0%	8.5%	9.2%	8.4%	8.0%	8.5%	2.0%			
	KPI③-1：胃がん検診受診率 男	10.0%	2.4%	0.9%	1.4%	2.1%	2.0%	1.9%	-8.1%			
	KPI③-2：胃がん検診受診率 女	10.0%	3.8%	1.1%	2.5%	3.6%	3.3%	3.1%	-6.9%			
	KPI③-3：大腸がん検診受診率 男	10.0%	3.2%	5.6%	3.3%	3.3%	3.5%	3.6%	-6.4%			
	KPI③-4：大腸がん検診受診率 女	10.0%	6.8%	7.4%	7.1%	6.9%	6.9%	7.4%	-2.6%			
	KPI④：特定健康診査受診率	60.0%	26.5%	24.9%	29.5%	32.2%	35.8%	39.8%	-20.2%			
	主 な 取 組	各種健康診査や予防接種の推進										
		・成人健康診査 ⇒ 特定健康診査（生活保護受給者）、肝炎ウイルス検診、歯周疾患検診、骨粗しょう症検診、胃がん検診、子宮がん検診等、各種検診を行った。 ・がん検診の総合支援 ⇒ 特定の年齢に達した方のがん検診の無料クーポン券を交付し受診促進を図った。 ・高齢者の予防接種 ⇒ 高齢者肺炎球菌ワクチン、高齢者インフルエンザワクチンの接種を実施した。										
主 な 取 組	健康的な生活習慣の推進											
	・生活習慣病予防と重症化防止の取組 ⇒ 生活習慣病予防のための食事や運動についての媒体や健康体操を作成し、周知した。節塩プロジェクトを実施し、健康相談や健康教育等、節塩運動を広めた。 ・やまぐち健康マイレージ事業の活用 ⇒ 萩市のマイレージ事業「萩にゃん。健康チャレンジ」、やまぐち健幸アプリ登録の推進を行った。											

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
1  だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	④障がい者の社会参加の促進										
	KPI①：手話通訳者数		10人	6人	6人	6人	6人	7人	9人	-1人	【KPI①、②】「手話言語条例」に基づき、誰もが手話に触れ、新たなコミュニケーション方法参加型の手話研修会を実施した。また、手話通訳者、要約筆記者を確保するため今後も養成講座を実施する。手話通訳者数、要約筆記者数ともに目標値には達しなかった主な要因は、研修会や講座の参加者が伸び悩んだことが挙げられる。今後は市報に加え、SNSなどを活用して広く周知して行くことが必要であると考える。
	KPI②：要約筆記者数		10人	8人	8人	8人	8人	9人	9人	-1人	
	主 な 取 組	手話言語条例の推進									
		・手話研修会の開催 ⇒ 市民、市職員を対象に開催した。 ・手話通訳者や要約筆記の配置 ⇒ 市主催の講演会等において配置した。 ・フォローアップ研修の実施 ⇒ 手話通訳者資格の取得に向け、手話奉仕員を対象に実施した。 ・奉仕員の養成講座の開催 ⇒ 要約筆記者確保に向け、市内のみの活動に限定した養成講座を実施した。 ・〈新規〉手話言語条例制定10周年イベントの開催 ⇒ 手話の普及や、手話言語から生まれる文化やその魅力を更に周知するため、10周年の節目として開催した。									
		相談支援体制の強化									
		・相談事業所の機能強化を推進 ⇒ 基幹相談支援センターを設置し、機能強化を推進した。 ・相談支援事業の体制支援 ⇒ 相談支援事業所（1事業所）が廃業することによる利用者への影響を軽減するため、新たな相談支援事業所が開設された。これに伴う事業所間の連携を支援した。									
障がい者福祉の経済的支援や環境整備											
・経済的支援 ⇒ 福祉サービスの助成を行った。医療費の助成を行った。日常生活用具費の助成を行った。 ・さんみ苑、つばき園の施設修繕 ・障がいのある方の利用しやすい環境の整備 ⇒ 点字図書、拡大図書など視覚障がいのある方の読書環境の充実を図った。											



項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	⑤安心して質の高いサービスの確保										
	KPI①：山口県立萩看護学校（第1看護学科）卒業生の市内医療機関就職者数（年間）		5人	1人	0人	1人	1人	2人	0人	-5人	【KPI①】令和2年度から5年度の採用実績はあるものの、令和6年度は0人となり、目標値には到達していない。少子化・コロナ禍等の影響もあり、年々入学人数が減少していることや県内唯一の県立看護師要養成施設でもあり、出身地域での就職が多いことも一因と考えられるが、萩の地域に関心を持ってもらうことも必要である。令和4年度からは、萩看護学校のコミュニティ論の学習の一環として、講義やフィールドワークの受入など市として協力している。  【KPI②】目標値には到達しているところだが、医療従事者不足等の影響により、市内医療機関の受入体制が年々困難な状況となりつつある。今後も取組を継続できるよう、関係機関との連携を深めていく。  【KPI③】介護人材の不足数は、令和4年度の67人をピークに年々改善され、令和6年度は59人となっている。介護福祉士等の受講・受験に係る費用の一部を助成する「介護人材確保・育成事業」を引き続き継続するとともに、今後も事業者の意見等を踏まえながら、支援制度の充実に向けた検討を進めていく。
	KPI②：医師の初期研修受入者数		10人	17人	18人	8人	12人	11人	10人	人	
	KPI③：介護人材の不足数		41人	76人	54人	50人	67人	60人	59人	18人	
	主 な 取 組	医療従事者の確保対策の推進									
		・医療従事者の確保 ⇒ ・医療従事者を志す学生に地域医療の魅力を知ってもらうため、地域医療セミナーを開催した。 ・市立診療所、市民病院の医師等が萩看護学校、萩准看護学院で講義、講演を実施し、市内就職の促進に努めた。 ・看護職員の不足を解消するため、市外から新たに二次救急輪番病院に勤務する看護職員を対象とした看護師住宅を整備した。 （令和5年度整備、令和6年度運用開始）									
		介護人材の確保対策の推進									
	・資格取得に係る費用の助成 ⇒ 介護人材の確保、介護人材の育成及び離職を防ぐため、各種研修、介護福祉士国家試験などの費用を助成した。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
1 だ れ も が 生 き い き と 暮 ら せ る ま ち づ く り	⑥その他全般的事項										
	KPI①-1：福祉ボランティア数 団体		16団体	10団体	10団体	14団体	14団体	24団体	25団体	9団体	【KPI①】 令和 6 年度に新たに点 訳グループの団体が登録をさ れ、 1 団体増加した。目標値は 達成しているが引き続き登録団 体の増加に努める。  【KPI②】 上記団体に属さないボ ランティアも活動されており、 令和 6 年度は入会された方が退 会された方を上回り 6 人増加し た。地域福祉組織は増減はなく 4 1 組織を維持した。いずれも 目標値には届かなかったため、 引き続き増加に努める。  【KPI③】 6 回のゲートキーパー 養成講座等を実施し、令和 6 年 度は見守り隊員が140人増加し た。目標値を超過したものの、 引き続き、学校や地区組織、事 業所等広く住民に働きかけ、見 守り隊員の増加を図る。
	KPI①-2：福祉ボランティア数 個人		70人	5人	5人	41人	42人	51人	57人	-13人	
	KPI②：住民による地域福祉組織（地区社協・町内会福祉部等）の設置数		51組織	38組織	39組織	40組織	41組織	41組織	41組織	-10組織	
	KPI③：こころの健康づくり見守り隊員数（累計）		4,000人	2,559人	3,462人	3,578人	3,811人	4,171人	4,311人	311人	
	主 な 取 組	地域福祉の推進									
		・萩市社会福祉協議会の運営 ⇒ 地域福祉活動推進事業を安定的に運営できるよう、人件費等の補助を行った。									
	主 な 取 組	地域保健の推進									
		・ハイリスク児童生徒を見守る支援者養成講座の開催 ⇒ 学校教育課と協力し、教職員を対象に開催した。 ・ゲートキーパー養成講座の開催 ⇒ 閉じこもり、自殺等の早期発見、早期対応策として心の健康づくりの支援を行った。									



項目			R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
2 子 育 て の 幸 せ が 実 感 で き る ま ち づ く り	KGI：希望する子どもの数（子どもを持つ予定人数）の増加			2.27人	2.21人	2.11人	2.26人	2.24人	2.22人	<div></div> -5.00%	※第3期萩市総合戦略の策定に当たりR5年度実績により検証を行ったため、R5年度で終了  【KGI分析】令和5年度には目標値の2.27人に対して2.22人となり、現状値から0.01人増加した。第2期総合戦略の計画期間中には、不妊治療に係る交通費の助成、妊娠期から出産・子育てまでの伴走型相談支援と経済的支援、子育て世帯応援誕生祝金、多子世帯応援誕生祝金、学校給食費の助成などの支援事業を開始したほか、GO-ENセンターの開設による出会い・結婚サポートの充実を図った。今後、希望する子どもの数の増加につながるよう、引き続き、必要な施策に取り組んでいく。	
	①妊娠・出産・子育て環境の充実											
	KPI①：育児に必要な備品購入等支援件数（累計）			1,500件	-	307件	524件	R3年度終了	<div></div>	<div></div>	<div></div>	【KPI①】令和3年度で終了 【KPI②～③】萩市こども家庭センターHAGU（母子保健機能分野）の相談件数は、来所相談数が伸び、前年比で約1.5倍となった。特定妊婦の相談実施については、妊婦の状況に応じて電話相談・対面相談等での対応に取り組んだ。今後も定期的な状況把握に努め、相談者に寄り添った対応、助産師が在駐している強みをいかした対応を継続する。対面相談や訪問は、必要性や本人の意向に沿って実施する。
	KPI②：子育て世代包括支援センター相談件数（年間）			1,000件	567件	993件	854件	679件	728件	1,068件	68件	
	KPI③-1：特定妊婦相談実施率 電話相談			95.0%	64.3%	92.3%	76.2%	100.0%	100.0%	88.2%	-6.8%	
	KPI③-2：特定妊婦相談実施率 対面相談			60.0%	42.9%	34.6%	19.1%	62.5%	52.6%	47.1%	-12.9%	
	KPI③-3：特定妊婦相談実施率 家庭訪問			50.0%	32.1%	26.9%	9.5%	0.0%	15.8%	11.8%	-38.2%	
	主 な 取 組	子育て世帯への経済的支援の推進										
<div>・医療費の助成 ⇒ 高校生等までの医療費自己負担額（保険適用分）を助成した。</div> <div>・誕生祝金の給付 ⇒ 令和3年4月1日以降に出生した子を持つ子育て世帯に対して市内共通商品券を給付した。</div> <div>・児童手当、多子世帯子育て支援金の支給 ⇒ 児童手当を支給した。第3子以降の保育料を助成した。</div> <div>・給食費の助成 ⇒ 萩市内の中学校、小学校に通う生徒の学校給食費を助成した。</div>												
相談体制や各種講座の充実												
<div>・こども家庭センターの運営 ⇒ 総合相談窓口として開設した。相談対応による支援をはじめ、出前講座による啓発活動を実施した。</div> <div>・出産・子育て応援事業 ⇒ 安心して出産・子育てができるよう、妊娠期から出産・子育てまで、伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施した。</div> <div>・家庭児童相談室の運営 ⇒ 家庭児童相談員を配置し、虐待、いじめ、不登校など家庭の環境により生じた健全育成上の問題に対し、助言・指導を実施した。</div>												
健康診査や予防接種の推進												
	<div>・母子保健に係る取組 ⇒ 相談対応による支援や各種健康診査の実施、妊婦健康診査費用の助成、産婦健康診査費用の助成を実施した。</div> <div>・予防歯科 ⇒ 妊婦歯科健康診査、歯科医師や歯科衛生士による歯科健診や保健指導（出前講座）を実施した。</div> <div>・予防接種の実施 ⇒ 風しんの追加的対策事業（抗体検査、予防接種）、小児定期予防接種を実施した。各種予防接種費用を助成した。</div>											
	不妊症・不育症に対する支援											
	<div>・不妊症治療費の助成 ⇒ 一般不妊治療、生殖補助医療、＜新規＞生殖補助医療通院交通費助成</div> <div>・不育症治療費の助成</div> <div>・県不妊治療専門相談会への協力</div>											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
2 子育 ての 幸 せ が 実 感 で き る ま ち づ く り	②子どもたちの笑顔があふれる居場所づくり										
	KPI①：児童館の来館者数（年間）		52,000人	50,872人	43,346人	40,854人	43,185人	46,459人	47,420人	-4,580人	【KPI①】子育て支援の拠点として、また、こどもや保護者の交流の場として活用されており、来館者数も、コロナの影響による減少があったものの、令和3年度以降、増加に転じている。  【KPI②】今後も100%の受入が維持できるよう、必要な対策を講じながら取り組む。
	KPI②：児童クラブ等利用希望受入率		100%の維持	100%	100%	100%	100%	100%	100%	0%	
	主 な 取 組	保育所等の運営管理									
		・公立保育園の運営、民間保育所等への支援 ⇒ 公立保育園を運営するとともに、市内児童が入所している民間保育所等に対して運営経費を支援した。 ・保育士の確保対策 ⇒ 勤務されていない有資格の保育士の就職を支援した。									
子育て拠点施設や遊び場の運営管理											
・児童館の運営 ⇒ 子どもの諸活動、子育て支援事業、広報活動等を実施した。 ・プレーパークの運営 ⇒ 自己責任のもと、自由な遊びを実現する場を提供した。 ・親子の遊び場「あそぼー舍」の運営 ⇒ 創造力豊かな子どもの育成につながるよう、体全体を使ってアクティブに遊べる親子の遊び場を運営した。											
放課後等の生活・遊び場の充実											
・児童の健全育成の推進 ⇒ 小学生を対象に児童クラブを開設した。放課後子ども教室を開催した。 ・子どもの居場所づくり支援 ⇒ 子ども食堂、学習支援、相談など子どもの居場所づくりに取り組む団体を支援した。											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
2 子育 ての 幸 せ が 実 感 で き る ま ち づ く り	③仕事と子育ての両立支援										
	KPI①：病児保育利用者数（年間）		450人	299人	255人	552人	507人	1022人	692人	242人	【KPI①】感染症が1年を通じて流行していた令和5年度に比べ、利用者数は減少したが、令和2年度以降、2番目に高い利用者数となった。仕事と子育ての両立を支援する仕組みとして活用されている。  【KPI②】休日保育利用者数は減少傾向であるが、保護者の就労形態に応じて利用できる保育サービスとして、周知を図っていく。
	KPI②：休日保育利用者数（年間）		600人	592人	409人	534人	420人	413人	321人	-279人	
	主 な 取 組	仕事と子育ての両立しやすい環境づくり									
		・24時間保育の実施 ⇒ 夜間及び深夜勤務を伴う保護者の児童を翌朝まで預かり、仕事と子育ての両立を支援した。 ・休日保育の実施 ⇒ 日曜祝日に保護者が仕事で家庭での保育ができない児童を預かり、保育を実施した。 ・延長保育の実施 ⇒ 1時間から2時間、開所時間を超える延長保育を実施した。 ・病児保育の実施 ⇒ 病気やけがのため集団保育が困難な子どもを、一定期間専用施設で預かり、保育を実施した。 ・ファミリー・サポート・センターの運営 ⇒ 子育て相互援助組織による地域の子育て支援を推進した。									
ひとり親家庭の支援											
・児童扶養手当の支給 ⇒ ひとり親家庭の生活の安定と自立促進を目的に児童扶養手当を支給した。 ・母子家庭等自立支援給付金の給付 ⇒ ひとり親家庭で資格取得のために養成機関で修業した場合、生活費の一部や訓練講座受講経費の一部を補助した。 ・ひとり親家庭医療費の助成 ⇒ ひとり親家庭の父または母、その児童の医療費自己負担額（保険適用分）を助成した。											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
2  子育 ての 幸 せ が 実 感 で き る ま ち づ く り	④出会い・結婚サポートの充実										
	KPI①：結婚支援制度を活用した成婚数（累計）		10件	-	0件	1件	2件	4件	7件	-3件	【KPI①】累計で7件の実績と なった。令和4年7月から新た に萩市・長門市・美祢市が共同 で結婚活動を支援する「GO－ E N」プロジェクト推進事業を 展開し、例年、実績は上がって きているものの、GO－E Nセ ンターの会員数の増加も容易で はなく、成婚まで時間を要する ことも目標値への未達要因に寄 与している。今後も、GO－E Nプロジェクトを含め結婚支援 制度の更なる周知に努め、引き 続き定住人口の増加や若者の定 着を目指していく。
	主 な 取 組	結婚を希望する男女の出会いの場の充実									
		<div>・結婚相談所の運営 ⇒ 結婚相談所を運営しマッチング、カップリングを実施した。（令和4年7月からGO－ENセンターへ移行）</div> <div>・GO－ENプロジェクトの推進 ⇒ 萩市・長門市・美祢市で共同でGO－ENセンターを運営し、婚活イベントやスキルアップセミナーを開催した。</div> <div>・出会いの場づくりの応援 ⇒ はぎ縁結び応援団へ企画を募集し、採択された企画へ補助金を交付した。</div>									

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
3 未来を担うひとを育むまちづくり	KGI：将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 小学生		90.0%	87.1%	-	80.8%	79.1%	80.4%	86.1%	-3.9%	
	KGI：将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合 中学生		85.0%	84.3%	-	73.6%	75.4%	72.0%	67.0%	-18.0%	
	【KGI分析】小学生においては将来の夢や目標を持っている児童の割合が増加しているが、中学生においては減少している。高校生や地域の大人等との関わりを更に充実させる教育活動の工夫が必要であると考えられる。また、地域での居場所づくりを推進することで児童生徒の心の安定も図っていく。										
	①「志」教育の推進										
	KPI①：ひとづくりセミナーの参加者数（年間）		1,000人	-	1,210人	760人	1,121人	1,298人	851人	-149人	【KPI①】令和6年度はセミナー講師の要望により、ひとづくりセミナーの対象者を萩市内の中高生のみとしたことから、一般の方の聴講について市報等による希望調査を行わなかった。このため、令和6年度の聴講者数は目標値に届いていないが、コロナの影響によってリモート開催となった令和3年度以外は概ね目標を達成している。  【KPI②】各中学校区で9年間を見通した学校・地域連携カリキュラムのブランディングに向けて、見直しと共有が図られた。今後は、これまでの取組をブラッシュアップするとともに、その取組の発信を推進していく。  【KPI③】地域のひと・もの・ことをいかした教育活動が活発かつ継続されていることから、児童生徒が地域のよさを実感し、地域を更によくしようとする機会が増えている。引き続き、地域の誇りを実感し、自分自身が地域の担い手となるという児童生徒の意識を高めていく。
	KPI②：地域の特色を生かしたカリキュラムを作成している学校の割合		100.0%	-	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
	KPI③：地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 小学校		70.0%	-			43.3%	89.1%	82.8%	12.8%	
	KPI③：地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童生徒の割合 中学校		70.0%	-			52.0%	70.9%	78.1%	8.1%	
	主な取組	未来を切り拓くひとづくり ・未来を切り拓くひとづくりセミナーの開催 ⇒ 市内中学校・高校を対象に開催し、萩商工高等学校など一部の学校が萩市民館で聴講した。 その他の学校については、オンライン開催により実施した。  ・成人式の開催 ⇒ 令和7年二十歳のつどいを開催した。 新成人（18歳）に向けた市長、教育長からのお祝いメッセージをYoutube上に掲載した。  ・わくわくキッズフェスタ開催の補助 ⇒ 子ども達に様々な体験活動を楽しんでもらうイベントの開催を補助した。									
		特色ある教育の推進 ・学校・地域連携カリキュラムの作成及び改訂 ⇒ 全ての中学校区において作成済の学校・地域連携カリキュラムを、児童生徒や保護者、地域住民の声を聞きながら見直しを図り、教育活動の充実につなげた。									



項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
3  未来を担うひとを育むまちづくり	②新しい時代に必要となる資質・能力の育成											
	KPI①：中学校卒業時に英検3級以上を取得している生徒の割合		50.0%	30.8%	28.8%	46.6%	46.9%	54.0%	54.7%	4.7%	【KPI①】 英語学習指導員の配置により、英語検定に向けた効果的な指導・支援が継続して各学校で行われた成果が、確実に生徒の英語力に結びついている。  【KPI②】 ICTの活用により、授業中に児童生徒一人一人の個に応じた学びが実現できる一方で、学びの定着に向けてもICTを有効に活用する必要がある。	
	KPI②-1：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 小学生国語		上回る	上回る	-	上回る(+3.3)	下回る(-0.6)	下回る(-0.7)	上回る(+0.3)			
	KPI②-2：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 小学生算数		上回る	下回る	-	下回る(-0.2)	下回る(-0.2)	下回る(-1.3)	下回る(-1.4)			
	KPI②-3：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 中学生国語		上回る	上回る	-	上回る(+1.4)	全国平均同数	上回る(+1.3)	下回る(-0.1)			
	KPI②-4：全国学力・学習状況調査における全国平均との比較 中学生数学		上回る	上回る	-	下回る(-0.2)	下回る(-0.4)	上回る(+1.4)	下回る(-0.5)			
	主な取組	グローバル人材の育成										
		・英語学習指導員の配置 ⇒ 1名の指導員による放課後及び夏休みの英検チャレンジ教室を実施した。 ・英語教育研修会の開催 ⇒ 小学校教員を対象にした研修会を集合型で2回開催した。 ・英語検定3級以上受検料の補助 ⇒ 中学3年間のうち一度は補助することを周知し、受検者数を増やすよう努めてきた。										
	学力向上の取組											
	・複式学習指導員の配置 ⇒ 複式学級を有する小学校を計画的に訪問し、年々増加する若手教員や複式指導未経験教員に対する指導を実施した。 ・授業改善支援員の配置 ⇒ ICT支援員が各小中学校を訪問し、ICT活用支援を行った。											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
3  未来を担うひとを育むまちづくり	③地域とともにある学校づくりの推進											
	KPI①-1：地域の行事に参加している児童生徒の割合 小学生		85.0%	81.4%	-	80.7%	57.8%	76.4%	-	【KPI①】 各学校が「学校・地域連携カリキュラム」のブランディングを図り、総合的な学習を核として、その地域ならではのひと・もの・ことをいかした教育活動が充実した。ブランディング化に向けて、地域の意見を反映する学校運営協議会の果たす役割は大きい。なお、令和6年度のKPIの値は、数値の基礎となる全国学力・学習状況調査の質問項目が変更されたことから、-表記としている。		
	KPI①-2：地域の行事に参加している児童生徒の割合 中学生		80.0%	72.7%	-	72.9%	60.0%	58.7%	-			
	主な取組	コミュニティ・スクールの推進										
		・コミュニティ・スクールとしての取組の推進 ⇒ 「学校・地域連携カリキュラム」をもとに、各学校において、地域の特色を生かした教育活動の展開につながった。 ・コミュニティ・スクール関連経費への補助 ⇒ 会議開催経費や、地域との交流活動経費を補助した。										
		地域協育ネットの推進										
	・地域協育ネットの推進 ⇒ 地域学校協働活動推進員を配置し、学校、地域、家庭が連携し、子どもたちの育ちを支援した。											

項目			R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)
3 未来を担うひとを育むまちづくり	④萩の未来を支える教育機会の充実										
	KPI①：児童・生徒用コンピュータ整備の割合		100.0%	18.3%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	【KPI①、②】100％を達成できた。引き続き、ICT機器を活用した効果的な授業や家庭学習を進めていく。  【KPI③】不登校児童生徒の割合は、令和6年度は、令和5年度と比較すると、中学校においては減少している。ステップアップルームや萩輝きスクール分室を効果的に運用し、可能な限り早い対応をしたことが減少に繋がった。しかし、小学校の不登校児童の割合が増加しているので、子ども相談・支援室を中心とした巡回訪問等で児童生徒の実態を確実に把握し、SCやSSWを活用した早期の支援やその他の課との連携を通した多様な支援を行い、引き続き、児童生徒の「校内の居場所づくり」に努める。
	KPI②：家庭でのオンライン学習に向けた通信環境の整備		100.0%	-			100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	
	KPI③-1：児童100人当たりの不登校児童生徒の割合（小学校）		減少させる	0.48	0.18	0.69	1.07	1.5	2.2		
	KPI③-2：生徒100人当たりの不登校児童生徒の割合（中学校）		減少させる	2.51	3.98	3.09	4.31	5.68	5.56		
	主な取組	キャリア教育の推進									
		・市内小学生・中学生へのライフキャリア教育 ⇒ 市内小学生・中学生が地域のひと・もの・ことから生き方について学ぶ学習を実施した。 ・志教育推進事業の開催 ⇒ 児童・生徒が自分たちが住んでいる地域を誇りに思い、そのよさを語ることができるような活動を各学校独自で展開することができた。									
		教育環境の充実及びG I G Aスクール構想の推進									
		・小、中学校の改修営繕 ⇒ 施設、空調設備の整備工事を実施した。L E D設置工事を実施した。校舎の予防保全工事を実施した。 ・学校の I C Tを活用した授業環境高度化 ⇒ 大型提示装置・ZOOMを導入して授業環境を整備した。									
		相談体制、支援体制の充実									
	・子ども相談・支援室、萩輝きスクールの運営 ⇒ 生徒指導上の課題に対応するため、ケース会議の実施や萩輝きスクールでの支援を行った。										
	修学のための経済的支援										
	・奨学金の給付 ⇒ 市内高校生、至誠館大学生、至誠館以外の大学生、萩准看護学院生、萩看護学生、市外の看護師養成施設の生徒、農業大学校生を対象に奨学金を給付した。										

項目			R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
3 未来を担うひとを育むまちづくり	⑤その他全般的事項											
	KPI①：高校生・大学生等が参画した市の事業数（累計）		50事業	-	10事業	19事業	31事業	46事業	67事業	17事業	【KPI①】若年層の意見や企画を取り入れるため、年々、高校生・大学生に参画いただく事業が増加し、目標値を達成することができた。引き続き、各機関と連携し、市の事業への高校生、大学生の参画を促す。	
	主な取組	ひとづくり構想の推進										
		・ひとづくり構想の推進 ⇒ 萩市ひとづくり構想推進委員会を開催し、教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検及び評価を実施した。										
		高等教育機関との連携										
	・世界遺産周遊促進事業への参画 ⇒ 明治日本の産業革命遺産が令和7年に世界遺産登録10周年記念を迎えることから、記念プレイベント「萩の世界遺産をめぐる！謎解きウォークラリー2024～先人が築いた近代化への道筋～」を開催。高校生に、企画段階から参加いただき、謎の作成やSNSを活用した広報に参画いただいた。											



項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
4  産 業 活 力 が あ ふ れ る ま ち づ く り	KGI：納税義務者1人当たりの所得		2,659千円	2,591千円	2,617千円	2,706千円	2,716千円	2,754千円	2,935千円	276千円		
	【KGI分析】令和３年度において目標値を達成している。傾向として、本市では総所得金額等に占める割合として、約９割が給与所得と公的年金所得であり、この数値が横ばいで推移している一方、納税義務者数が減少していることから、１人あたりの所得が増加となっている。令和６年度は定額減税の影響により、納税義務者数が前年度と比較して約10%の減少となり、１人あたりの所得も大幅に上昇する結果となった。今後も、所得そのものの維持及び向上により１人当たり所得が増加するよう、産業活力の向上を図る必要がある。											
	①地域のにぎわいを取り戻す地場産業の再生											
	主 な 取 組	KPI①：地域ブランド調査の食品想起率県内ランキング（ブランド総合研究所）		1位	3位	3位	3位	3位	4位	5位	4位	【KPI①】食のポータルサイト「萩GoChi」のビュー数は増加しているものの食品想起率の順位上昇には反映していない。萩の全国的な知名度は一定数あるものの、食としての萩のイメージ定着には至っていない。引き続き様々な媒体を活用し、認知度向上に取り組んでいく。  【KPI②】萩ビズの運営について、満足度は高い水準で推移しているものの低下傾向にある。商工会議所と連携して、サポート内容の改善を図る。  【KPI③】目標値を上回っている。さらなる利用促進に向け、制度の周知を図りたい。  【KPI④】令和６年度の市内事業者デジタル化促進事業のキャッシュレス決済導入支援等の実績は０件であった。目標値には届いていないが、キャッシュレス決済の実施率は当初から伸びており、当該事業によるキャッシュレス決済導入については一定の役割を果たした。
		KPI②：はぎビズ相談件数（年間）		1,000件	-	607件	590件	480件				
		KPI②：はぎビズ利用者満足度（年間）		90%	-			97.0%	94.0%	88.0%	-2.0%	
		KPI③：新商品開発件数（累計）		6件	-	4件	6件	9件	11件	13件	7件	
		KPI④：キャッシュレス決済の実施率		25.00%	11.28%	15.89%	16.92%	16.92%	23.95%	23.95%	-1.05%	
		萩ブランドの推進										
		・萩・地域ブランドの構築 ⇒ 食のブランド産品を中心にウェブサイト、紙媒体等による総合的な情報発信を行い、販路拡大や事業者の稼ぐ力の向上を支援した。										
		地場産業の振興										
		・中小企業長期経営安定資金の融資 ⇒ 事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）を融資した。 ・起業化支援対策資金の融資 ⇒ 新たに事業を開始する中小企業者等に対し、事業活動に必要な資金（運転資金、設備資金）を融資した。										
		中小企業の事業拡大等への支援										
	・中小企業等事業拡大補助金の交付 ⇒ 事業拡大へのチャレンジに補助金を交付し、販路の拡大、設備の充実及び広告宣伝等、経営力の向上を図った。 ・はぎビズの運営 ⇒ 中小企業の販路拡大や新サービス展開など、あらゆる分野の経営相談を継続的に支援した。											
	拠点施設の整備・機能強化											
・道の駅等の整備 ⇒ 道の駅「あさひ」の駐車場拡張工事を実施した。												

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
4  産 業 活 力 が あ ふ れ る ま ち づ く り	②起業・創業と企業誘致の推進										
	KPI①：中心市街地の空店舗活用件数（累計）		5件	1件	3件	4件	6件	10件	10件	5件	【KPI①、②】目標値を上回っているが令和6年度は利用がない状況である。利用促進に向け、制度や施設利用の周知を図りたい。  【KPI③】コロナ禍以降、徐々に経済活動が再開し、新規起業件数が増加している。引き続き関係機関と協力し支援を行う。  【KPI④】目標値を上回っており、件数も年々増加傾向にある。さらなる移住促進を図りたい。
	KPI②：インキュベーションセンター利用件数（累計）		8件	-	5件	8件	10件	12件	12件	4件	
	KPI③：新規起業件数（年間）		11件	6件	11件	9件	11件	21件	24件	13件	
	KPI④：移住就業・移住創業事業者数（累計）		10件	1件			5件	15件	26件	16件	
	主 な 取 組	起業・創業支援の推進									
		・萩市インキュベーションセンターの管理運営 ⇒ 地域産業の振興や起業・創業、企業誘致のさらなる促進のため、萩市インキュベーションセンターを運営した。 ・はぎビズの運営 ⇒ 萩商工会議所を通じ、中小企業の販路拡大に向けたあらゆる分野の経営相談を継続的に支援した。 ・創業セミナー等支援の実施 ⇒ 商工会議所等が実施する創業者・予定者に対する相談、指導及びフォローアップに係る支援に対して補助を行った。									
		企業誘致の推進									
	・企業誘致の推進 ⇒ 過去最多となる6社の企業誘致を実現した。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
4  産 業 活 力 が あ ふ れ る ま ち づ く り	③企業人材の育成と雇用拡大の支援										
	KPI①：萩市内企業の新規雇用者数（年間）		950人	883人	780人	760人	772人	740人	769人	-181人	【KPI①】目標値には及ばないが、前年度より雇用者数は増加した。有効求人倍率は回復傾向にあり、雇用情勢は改善されている。  【KPI②】目標値を大きく上回っている。引き続き登録社数増加のため周知を図る。  【KPI③】卒業者数の減少、大学進学率や都会志向の増加により市内就職者数が減少傾向にある。  【KPI④】市内進出したIT企業へ声掛けをしたため、結果的に参加企業数が増加した。ただし、各企業の状況により、参加・不参加の入れ替わりは変わらずあるため、今後も引き続きマッチングの場として周知を図る。
	KPI②：やまぐち移住支援サイトへの登録企業数		20社	8社	9社	13社	15社	37社	54社	34社	
	KPI③：高校等卒業生の市内就職者数（年間）		50人	32人	43人	29人	36人	31人	32人	-18人	
	KPI④：合同企業説明会参加企業数		30社	25社	24社	26社	25社	26社	28社	-2社	
	主 な 取 組	人材育成の推進									
		・産業人材育成塾の開催 ⇒ 萩市産業人材育成塾「熱中小学校萩明倫館」実行委員会を開校し、チャレンジマインドの醸成を図った。 ・就業の促進 ⇒ 新規採用者等を対象とした新社会人向け研修会を開催した。									
		雇用拡大の支援									
	・就業の促進 ⇒ 合同企業説明会を実施し、高校卒業予定者と市内企業のマッチングの場を提供するとともに、市内企業の魅力を伝える企業ガイドブックを制作した。										

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
4  産 業 活 力 が あ ふ れ る ま ち づ く り	④力強い農林水産業の推進										
	KPI：①集落営農法人連合体の組織数	3組織	2組織	3組織	5組織	5組織	5組織	5組織	2組織	【KPI①】集落営農法人の経営合理化の手法の一つとして、法人連合体の設立支援を行っていく。  【KPI②】安定した経営を図るため、繁殖牛頭数20頭以上の飼養が目標であり、20頭以上の規模に到達した経営体は令和6年度までに、累計で3経営体となった。引き続き、安定した畜産経営を実現するため、飼料価格等の外部環境を見定めながら規模拡大等を支援していく。  【KPI③】森林の団地化、主伐・再造林一貫作業の推進、木材の流通・販売体制の構築・強化を通じ、主伐による搬出材積量の増加に取り組んでいるが、萩市有林以外の民有林における主伐実績が伸び悩んだため目標数値には届かなかった。今後、市内外の林業事業体による団地外の主伐の動向や森林整備センター等の事業計画にも注視してまいりたい。  【KPI④】令和2年度から6年度まで、どの年度でも目標値の達成とはならなかった。漁業者の減少や水産資源の減少など課題は多く、今後も引き続き漁業者への効果的な支援や水産資源の保全・生産力の向上等を推進していく。	
	KPI：②飼養頭数（母牛）20頭以上に規模拡大する和牛繁殖農家数	2経営体	-	1経営体	1経営体	3経営体	3経営体	3経営体	1経営体		
	KPI：③搬出材積量（主伐、年間）	11,700m³	3,000m³	4,488m³	5,926m³	3,681m³	7,777m³	5,421m³	-6,279m³		
	KPI：④水産物水揚量（年間）	6,100t	6,041t	4,983t	5,265t	5,697t	5,699t	5,487t	-613t		
	主 な 取 組	農地機能・農村機能の維持、農地集積・集約化の推進									
		・中山間地域等への直接支払 ⇒ 農地を守り農業生産活動を行う集落等に面積規模に応じて交付金を交付した。 ・多面的機能維持、発揮への支援 ⇒ 農業・農村が担ってきた地域に対する多面的機能の維持、発揮のため、農業者と地域住民の共同活動を支援した。 ・機構集積協力金の交付 ⇒ 農地中間管理機構を活用した貸付、借受による担い手への農地集積を支援した。									
		収益力の強化、担い手の経営発展									
		・集落営農法人連合体の育成 ⇒ 規模拡大、低コスト化等に向けた農業用機械の導入を支援した。 ・農業中心経営体育成支援事業 ⇒ 個人の認定農業者等に対し農業用機械等の導入や栽培施設等の整備に係る経費を支援した。 ・地域農業資源リノベーション事業 ⇒ 規模拡大に取り組む農業法人が行った中古農業用機械の導入に対し支援した。									
		有害鳥獣等の被害対策									
		・鳥獣被害防止の総合対策 ⇒ 鳥獣被害防止対策経費の一部を補助することにより、農業被害の軽減を図り所得の安定及び生産意欲の向上を推進した。 ・野猿被害軽減対策事業 ⇒ 被害軽減対策として、阿萩地区、阿北地区の各猟友会に市内全域のサル捕獲業務を委託した。									
	主 な 取 組	農林水産品の生産振興、販売促進									
		・儲かる農業経営体モデル確立の支援（ソフト） ⇒ 販売促進や新品種の導入を行う農業者等を支援した。 ・萩市産木材需要拡大の支援 ⇒ 地元森林組合と製材事業者が設立した合同会社に対して、木材の円滑な供給に必要な資金の貸付を実施したほか、住宅等への地域産木材の活用、木材を持続可能なエネルギー資源として活用するための薪ストーブの整備を支援した。 ・萩の魚ブランド化推進協議会等への補助金 ⇒ 萩の魚のブランド化を推進することにより付加価値を高め、魚価の安定や消費拡大を推進した。									
畜産業の振興											
主 な 取 組	・粗飼料等の価格高騰対策 ⇒ 飼料価格が高騰していることから、畜産農家が購入した粗飼料及び単味の濃厚飼料代の一部について支援した。										
	イベント等を通じた農林水産業の振興										
主 な 取 組	・萩の魚ブランド化推進協議会補助金 ⇒ 萩の魚のブランド化を推進することにより付加価値を高め、魚価の安定や消費拡大を推進した。 ・萩・魚まつりの開催 ⇒ 漁協及び関係団体が協調し、地域及び都市住民との交流を図る中で、魚の消費拡大並びに魚食普及を行った。										



木材の活用を通じた持続可能な地域づくり	
<div>・木材利用の推進 ⇒ 地域産木材の活用に向け、関係者の意見交換の場づくりや、市内中学校における授業等の普及啓発を実施したほか、市内の幼稚園・保育園児や小学生を対象とした木育体験を実施した。</div> <div>・萩市産木材需要拡大の支援 ⇒ 地元森林組合と製材事業者が設立した合同会社に対して、木材の円滑な供給に必要な資金の貸付を実施したほか、住宅等への地域産木材の活用、木材を持続可能なエネルギー資源として活用するための薪ストーブの整備を支援した。（再掲）</div>	
次世代まで幸せになる林業	
<div>・主伐・再生林の推進 ⇒ 造林事業者に対して、コンテナ苗を使用した再生林の支援を実施した。</div> <div>・森、職、人づくりの推進 ⇒ 適切な森林整備を進めるため森林環境譲与税を活用し、林業経営体（地元森林組合）に対し、森林団地認定のための森林所有者の意向調査、森林団地における適切な森林整備、効率的な作業を進めるための機械化、担い手の確保・育成の取組を支援した。</div>	
水産資源の保全・生産力の向上	
<div>・水産多面的機能発揮対策事業負担金 ⇒ 藻場やヨシ帯の保全回復に取り組む漁業者等の活動を支援し、水産業の再生及び漁村の活性化を推進した。</div> <div>・単独漁場改良造成等事業費補助金 ⇒ 白魚産卵漁場の改良造成、稚あゆ等の放流、アワビ等種苗の購入にかかる経費を補助した。</div> <div>・離島漁業再生支援交付金 ⇒ 離島の漁業再生等を図るため、漁業の生産力の向上等の取組を行う漁業集落を支援した。</div> <div>・阿武・萩地域栽培漁業推進協議会負担金 ⇒ ヒラメ、アカアマダイ、カサゴの中間育成及び放流経費の一部を補助した。</div>	
農林水産施設の整備・運営管理	
<div>・水産基盤ストックマネジメント ⇒ 施設の機能保全計画を策定し、計画的に保全工事を実施することで施設の長寿命化を推進した。</div>	

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	
⑤地域産業の担い手・後継者育成										
KPI①：新規農業就業者数（累計）		40人	-	8人	16人	24人	40人	55人	15人	【KPI①】令和6年度は、年平均目標8名を超える15名の就業があった。目標値を超えることができたが、今後も、関係機関と連携して、地域農業の担い手の確保に取り組んでいく。  【KPI②】林業スタートアップ応援事業の活用や阿武萩森林組合による就業フェアへの参加、自伐型林業者の開業等により目標を上回る実績となった。一方で、新規就業者の定着について課題が残り、引き続き林業経営体が行う就業者確保に向けた取組への支援が必要である。
KPI②：新規林業就業者数（累計）		10人	-	4人	6人	8人	10人	14人	4人	
KPI③：新規漁業就業者数（累計）		40人	-	8人	17人	23人	32人	50人	10人	
KPI④：農援隊による農繁期支援者数（累計）		100人	-	0人	0人	0人	0人	0人	-100人	
KPI⑤：スマート農業を導入した経営体数		5経営体	-	4経営体	12経営体	12経営体	16経営体	17経営体	12経営体	
KPI⑥：IT企業と連携した人材育成カリキュラムの実施数（累計）		5回	-	1回	2回	3回	4回	5回	回	
農林水産業の新規就業者の確保、育成、定着支援										
<div>・新規就農の総合支援 ⇒ 経営が不安定な就農直後の所得を確保するための支援等を実施した。新規就業者を雇用し技術習得等の研修を行う農業法人を支援した。</div> <div>・農業スタートアップの応援 ⇒ 新規就農者の経済的な負担の軽減及び安定した農業経営と生活基盤の確立を支援するための支援を実施した。</div> <div>・林業スタートアップの応援 ⇒ 林業への新規就業者の確保・育成を図るため、就業準備の資金や賃貸住宅の家賃補助等の支援を実施した。</div> <div>・漁業スタートアップの応援 ⇒ 新規漁業者の経済的負担の軽減及び漁業会社等の漁業経営の安定を図るため準備金、家賃や出展経費の一部を補助した。</div> <div>・新規漁業就業者の定着促進 ⇒<div>・漁協が新規就業者等にリースするために漁船等を購入する際の費用を支援した。</div><div>・漁協が研修生用の住宅として改修する際の費用を支援した。</div><div>・漁業会社等に研修経費を支給した。漁業経営を開始した方に自立化支援金を支給した。</div></div>										

<div>4</div> <div>産業活力が あふれる まちづくり</div>	<div></div> <div>主 な 取 組</div>	<div>規模拡大や経営合理化への支援</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農法人連合体の育成 ⇒ 規模拡大、低コスト化等に向けた農業用機械の導入を支援した。</li> <li>・農業中心経営体育成支援事業 ⇒ 個人の認定農業者等に対し農業用機械等の導入や栽培施設等の整備に係る経費を支援した。</li> <li>・地域農業資源リノベーション事業 ⇒ 規模拡大に取り組む農業法人が行った中古農業用機械の導入に対し支援した。</li> </ul> </div> <div>第一次産業のIoT化</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農機の導入支援 ⇒ 集落営農法人連合体形成加速化事業によりスマート農機導入を支援した。</li> </ul> </div> <div>産業人材の育成、確保</div> <div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバルIT人材確保、育成の推進 ⇒ 萩グローバルIT人材育成協議会を運営し、大学生等を対象にeラーニングを中心としたIT学習カリキュラムを提供した。</li> <li>・特定地域づくり事業共同組合の運営支援 ⇒ 農林業や製造業等の事業者に対し、労働者を派遣することを目的に設立したはぎ地域づくり協同組合の設立及び運営に必要な経費を支援した。</li> </ul> </div>	<div>【KPI③】令和2年度から6年度までの累計は目標数を10人上回る成果を達成することができた。今後も漁協や県等と連携し、新規就業者の確保・育成・定着に努めていく。</div> <div>【KPI④】山口県農業協同組合中央会が運営する農業バイト求人検索サイト（あぐぼん）等の農業援助サービスの開始及び令和4年度に「はぎ地域づくり協同組合」が設立されたことにより、支援の方法が、市単独での農繁期支援事業から移行しつつある。</div> <div>【KPI⑤】高齢化や人手不足などの課題を解決し、持続可能な農業を実現するため、スマート農機の導入を推進する。</div> <div>【KPI⑥】ITリテラシーの向上を目的として、①IT基礎知識を習得するためのeラーニングの提供（受講生約90名）、②オンラインでの特別講座の開催、③市内高等学校と連携したセミナーの実施（対象者26名）、④小学生向けプログラミング教室の開催（参加者10名）、⑤テレワークセミナーの実施（参加者約40名）など、広く学習の機会を提供した。今後も、IT関連企業等と連携し、IT人材の育成に努めていく。</div>
--	--	---	---

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
4  産業 活 力 が あ ふ れ る ま ち づ く り	⑥地域経済の発展を加速化する高速道路ネットワークの形成										
	KPI①：山陰道の事業化区間の延長		事業化区間	優先整備区間	事業化区間	-	-	-	-	【KPI①】令和6年度は、関係団体とともに、7月、10月、11月に国土交通省等、関係機関への要望活動を実施。令和3年度に大井・萩道路、益田田万川道路の2区間が新規事業化され、現在、国において事業を進められている。引き続き、要望を通じて未事業化区間の事業化と早期の全線開通を目指す。	
	主 な 取 組	高規格道路及び地域高規格道路の整備促進									
		・山陰道の整備促進 ⇒ 大井・萩道路と益田・田万川道路が令和3年度から事業着手された。早期完成を目指して要望活動を実施した。									
⑦その他全般的事項											
主 な 取 組	萩・明倫学舎の整備・活用										
	・3号館市民ギャラリーの活用 ⇒ 令和6年度来館者は7,426人であった。										



項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	KGI：旅行消費額		143.4億円	131.5億円	94.8億円	98.4億円	118.7億円	121.4億円	128.2億円	-15.2億円	【KGI分析】 コロナ禍による落ち込みから徐々に回復し、最終年度は前年度に比べ５％以上増加したが、計画策定時の値は回復せず、目標値に届かなかった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症が５類に移行された後は全国的に旅行者が増加しており、萩市においても、入込客数、宿泊客数や県外からの観光客やインバウンドは増加傾向にある。また、一人当たり旅行消費額も萩版DMOの目標数値を上回っている。引き続き、萩市を訪れる方の増加に勤め、旅行消費額の拡大を図っていく。	
	①全国に誇る萩のまちなみの継承											
	KPI①：歴史的景観保存地区内の修景助成件数（累計）		10件	-	1件	3件	5件	6件	8件	-2件	【KPI①】 累計８件の実績となった。歴史的景観保全地区に限った補助であるため、年間１～２件の申し込みとなり目標未達となった。今後も建物の老朽化により、一定の利用者数は見込まれるが、景観の保全を図るため、より利用者の要望に沿った補助内容となるよう研究する。  【KPI②】 年の前半は、登録者があったものの、後半は伸びず、目標達成には至らなかった。しかしながら、補助金による支援、花いっぱい運動の推進による意識の向上などにより、年間登録者数の平均２０人を上回る３７人の増加となった。引き続き応援隊に対する支援を継続し、花いっぱい運動を推進していく。	
	KPI②：花と緑の応援隊登録者数（累計）		494人	294人	353人	412人	408人	412人	449人	-45人		
	主 な 取 組	歴史的景観の保存・活用										
		・ 伝統的建造物群保存地区内の現状変更事務 ⇒ 申請、協議を処理した。 ・ 電柱の地中化 ⇒ 令和３年度に史跡萩城城下町の４箇所で試掘調査を実施し、遺構が確認された。電柱の地中化に向けて、遺構について文化庁と協議を進めている。 ・ 伝建地区の空き家等の活用 ⇒ 浜崎伝建地区の空き家を活用するための施設改修等を実施し、施設運営事業者の募集、選定を行った。										
		景観保全や景観形成の推進										
		・ 歴史的景観保存地区の整備 ⇒ 歴史的景観保存地区における工作物等の修景に対して補助金を交付した。										
		花と緑の推進										
・ 笠山椿群生林の再生保全 ⇒ 笠山椿群生林のヤブツバキの再生・保全のため、検討委員会を開催し、現状調査と再生試験を実施した。 ・ 花と緑の推進事業補助金 ⇒ 市民による花と緑の推進に対する補助、花と緑の応援隊への支援、花いっぱい運動の推進、花と緑のふれあい広場の開催を行った。												



項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	③文化のおたから、自然のおたから、産業のおたからの再発見・継承										
	KPI①：新しいおたからの発見数（累計）		4,000件	3,464件	3,680件	3,773件	3,773件	3,773件	3,773件	-227件	【KPI①】 令和４年度の検証期間を経て新たな事業に取り組んだことから、令和４年度以降、実施がなく数値に増減がない。  【KPI②】 令和３年度に目標値を超えた。令和６年度には27件のイベントを行うなど、実施数を着実に伸ばすことができた。  【KPI③】 令和６年度は前年度に対しては増加しているが、コロナ前と比べると依然として大きな開きがある。県内に大小さまざまな行事・企画が乱立し、集客競争が激化していることから、より競争力のある特別展や企画展を検討したり、他館との住み分けを模索する必要がある。
	KPI②：おたから活用イベントの実施数（累計）		50件	20件	43件	57件	71件	88件	115件	65件	
	KPI③：萩博物館の入館者数（年間）		100,000人	88,234人	32,646人	42,154人	39,581人	48,751人	68,288人	-31,712人	
	主な取組	萩まちじゅう博物館構想の推進									
		・萩まちじゅう博物館の推進 ⇒ おたからの調査などを行う団体を支援した。									
		萩博物館等の運営									
		・特別展の開催 ⇒ 開館20周年を記念した特別展を開催した。									
		調査研究の推進									
		・報告書等の発行 ⇒ 各分野の成果をまとめた萩博物館調査研究報告第20号を発行した。									

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
5 魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	④萩ジオパーク構想の推進										
	KPI①：萩ジオパーク推進協議会公認ジオツアー・体験プログラム参加者数（年間）		500人	181人	211人	133人	254人	233人	178人	-322人	【KPI①、②】 ツアー・プログラムへの参加人数は、昨年度に比べて減少し、ジオガイド・プランナー数については昨年度と同数であった。ただし、萩ジオアカデミー講座や出前講座など参加者が増加したものもあった。KPIの目標値に設定したものは届かなかったが、出前講座など実績を伸ばしたものもあり、また、適切な環境保全なども継続して行っている。
	KPI②：萩ジオパーク推進協議会公認現役ジオガイド・ジオプランナー数		20人	9人	12人	12人	13人	12人	12人	-8人	
	主な取組	市民への普及啓発の推進									
		・萩ジオパーク推進協議会補助金 ⇒ 萩ジオアカデミー講座特、大地の日（大地の遊び人ひろば）、萩ジオパークフェアを開催した。各イベントへの出展、出前講座を実施した。  ・萩市ジオパーク活動の補助 ⇒ 萩PR・COMPANY（萩の魅力再発見プロジェクト）の活動を補助した。									
		環境保全や施設・展示の整備									
		・ジオサイトの保全 ⇒ ジオサイトの草刈を実施した。									
		情報発信の強化									
		・ジオパーク活動の周知 ⇒ 萩ジオパーク推進協議会公式ＨＰへの掲載や、ＳＮＳ等での情報発信に努め、パブリシティに取り上げられた。									
		ジオツアー等関連商品の開発									
・萩ジオパーク推進協議会補助金 ⇒ 公式HPの他、現地ツアー予約サービスを提供するウェブサイトに掲載し、ジオツアー等を開催した。  ・関連団体による取組 ⇒ 各種ジオツアーの開催、体験ツアー造成等を実施した。											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
5  魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	⑤観光地経営の視点に立った観光地域づくりの推進										
	KPI①：来訪者満足度（おもてなし）		4.4	4.38	4.5	4.63	4.65	4.69	4.69	0.29	【KPI①②】市内の事業者が施設改修や新たなコンテンツの造成、ブラッシュアップを行うなど観光地「萩」の魅力の向上に繋がる取組を実施するとともに、おもてなしの推進などにより、観光客の満足度は高水準を維持した。また、まちじゅう博物館をテーマとしたスタンプラリーや旅行商品を造成するなど市内観光の周遊を促進した。  【KPI③】観光客の満足度を上げるための施設改修やおもてなしの強化などにより、満足度も高水準を維持している。また、継続的な情報発信に加え、国内外へのテーマごとの情報発信や、インバウンドなど情報発信を強化することで県外からの来訪者やインバウンドも増加した。リピーター数は増加しているが、それ以上に初めての来訪者が増加したことにより、リピーター率は減少し、目標達成できなかった。引き続き、観光ニーズに対応した受入環境の整備や体験コンテンツの提供により観光客の満足度を向上し、リピーターの獲得に務める。
	KPI②：来訪者満足度（宿泊施設）		4.4	4.3	4.39	4.52	4.45	4.43	4.56	0.16	
	KPI③：リピーター率		69.0%	65.4%	52.7%	52.1%	47.3%	43.1%	42.6%	-26.4%	
	主な取組	滞在型観光の仕組づくり									
		<div>・外国人観光客誘客促進 ⇒ ①まちじゅう博物館、②着物、③GI萩の清酒、萩焼・萩往還の3つのテーマで、外国人旅行者向け旅行プラン造成、実施した。</div> <div>・滞在・周遊の促進 ⇒ JRと連携し、市内各所に点在する①萩のおたから情報、②萩の世界遺産のおたから、③萩の歴史のおたから、④萩の風景のおたから、⑤萩の食のおたからの5つのカテゴリーからなる80ヵ所のスタンプ獲得スポットでの「萩のおたからスタンプラリー」を実施した。</div> <div>・夜間イベントの実施 ⇒<div>・萩への宿泊を促すため、竹灯路物語、プロジェクションマッピング、着物ウィークin萩、竹あかりat萩・明倫学舎などを連携して開催した。</div><div>・山口県出身の声優による朗読劇を実施し、併せて津和野町と連携した周遊ツアーを実施した。</div></div>									
		観光情報発信の強化									
	<div>・PR動画による戦略的プロモーション ⇒ 萩市観光ポータルサイト内での観光情報の充実、SNSを活用した効果的な情報発信により、HPのアクセス数も増加した。</div> <div>・魅力あるパンフレット作成・食情報の発信 ⇒ 季節ごとにイベント情報や市内の見どころを掲載した観光パンフレットや市内飲食店のガイドマップ等を発行した。</div> <div>・広告宣伝助成事業 ⇒ 市内4事業所に対して、販路開拓に取り組む際に必要な広報宣伝費の一部を助成した。</div> <div>・【再掲】外国人観光客誘客促進 ⇒ ①まちじゅう博物館、②着物、③GI萩の清酒、萩焼・萩往還の3つのテーマで、外国人旅行者向け旅行プラン造成し、OTAへのコンテンツ掲載・販売、スマホ位置情報データを活用した広告、訪日外国人向けアプリを活用した広告、SNSを活用した広告、京都駅・広島駅での情報発信を実施した。</div> <div>・インバウンドプロモーション ⇒<div>・世界160の国や地域の約3億6,000万世帯で視聴可能であるNHKの国際サービス「NHKワールドJAPAN」の番組「CATCH JAPAN」で萩まちじゅう博物館をコンセプトにサムライが闊歩した城下町や体験、食に関する情報を放送した。</div><div>・フランスのJapan in Motionで、世界遺産をコンセプトに地元名産品とともに旅番組スタイルで放送した。</div><div>・新山口駅のデジタルサイネージ掲出した。</div><div>・萩市観光協会公式ホームページの英語版を強化（宿泊、食、体験ページ等）した。</div><div>・プロモーションアドバイザー研修を実施した。</div></div>										
	観光受入体制の充実										
	<div>・周遊サイクリングの実施 ⇒ 道の駅ゆとりパークたまがわ、いかマルシェで、レンタサイクルを実施し、地域内の周遊促進を促進した。</div> <div>・萩おもてなし事業 ⇒ 「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」の運行やクルーズ客船の寄港に併せて、多様なおもてなし、歓迎イベントを開催した。</div> <div>・インバウンド受入環境整備支援事業 ⇒ 外国人観光客の満足度の向上を図る取組を支援するため、レストランのWi-Fi整備、館内表示の多言語化、トイレの洋式化等の整備に対する経費の一部を助成した。</div> <div>・【再掲】外国人観光客誘客促進 ⇒ ①まちじゅう博物館、②着物、③GI萩の清酒、萩焼・萩往還の3つのテーマで、外国人旅行者向け旅行プラン造成、実施した。</div> <div>・インバウンド対象でアンケートを実施し、萩城跡指月公園、萩博物館、萩・明倫学舎を無料で周遊できるHagiWonderPassを発行した。</div> <div>・山口県出身の声優による「高杉晋作」をテーマとした朗読劇を実施し、併せて市内を周遊するツアーを造成した。</div> <div>・萩往還、長門峡の英語版散策マップを作成した。</div>										



り	観光マーケティング調査
	・観光動向の調査 ⇒ 観光客への聞き取り調査や、観光地での数取り調査を実施した。
	観光施設等の運営・維持管理
	・観光施設運営 ⇒ 清掃業務の委託、観光施設の維持管理、海水浴場の開設等を実施した。 ・萩・明倫学舎に係る取組 ⇒ ・N P O 萩明倫学舎と協働により、本館から4号館まで全館の管理運営を行った。 ・季節ごとに明倫学舎の特色を生かしたイベント等を開催し、誘客に努めた。 ・幕末ミュージアム小川コレクション寄贈者故小川忠文氏追悼事業として、2号館幕末ミュージアムに「幕末体験コーナー」を設置し、小川コレクションの図録を刊行する等、資料の魅力と価値の周知に努めた。 ・POSレジシステム導入を導入し、来館者の利便性の向上に向けて取り組んだ。
	観光誘客イベントの充実
	・萩づくりイベントの支援 ⇒ 萩ならではの観光資源を活用したイベント「着物ウィーク i n 萩」や「萩・竹灯路物語」、自然、花をテーマにした「萩・椿まつり」、「萩・夏みかんまつり」、「萩・花火大会2024」、「萩時代まつり」を開催した。 また、萩・竹灯路物語に併せ、プロジェクションマッピングやGI萩の日本酒のふるまい等を行った。

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
5 観光	⑥観光客誘致の積極展開										
	KPI①：観光入込客数（年間）	5,000,000人	4,506,575人	3,199,061人	3,178,124人	3,614,421人	3,828,146人	3,892,992人	-1,107,008人	【KPI①】目標の達成はできなかったものの、コロナ前に比べ宿泊のキャパシティが減少している中で、コロナ前の86.4%まで回復した。引き続き観光需要の回復に注力する。  【KPI②】目標達成には及ばなかったものの、外国人観光客に向けた情報発信や受入環境の整備に取り組んできた結果、特に欧米系の増加が見られるなど、順調に回復してきている。  【KPI③】目標達成には及ばなかったものの、各施設の改修などにより、需要が拡大し、コロナ前に比べ宿泊のキャパシティが減少してる中で、30万人を突破した。	
	KPI②：外国人観光客数（年間）	29,000人	14,600人	516人	14人	365人	4,692人	8,026人	-20,974人		
	KPI③：宿泊者数（年間）	470,000人	405,409人	261,771人	244,119人	288,861人	283,955人	307,468人	-162,532人		
	KPI④：ホームページ訪問数（年間）	1,300,000回	1,191,381回			1,312,137回	1,561,790回	1,559,850回	259,850回		
	KPI⑤：SNSフォロワー数（年間）	10,000人	7,314人			8,004人	8,787人	9,025人	-975人		
	KPI⑥：交通系ICカードの利用者率	50.0%	-	0.0%	13.0%	9.4%	15.3%	22.5%	-27.5%		
		観光宣伝の推進									
		<div>・PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。</div> <div>・観光施策負担金、補助金 ⇒ 他の観光地と連携する協議会等へ負担金を支出し、観光情報の発信力を高めることで、萩市の認知度向上、観光客の誘致拡大に取り組んだ。</div> <div>・萩観光キャンペーン「萩旅」を展開した。</div> <div>・萩市観光協会ホームページに特設ページを開設し、周年事業を開催した。</div> <div>・公式WEBサイトを活用した情報発信強化事業 ⇒ 通信インフラ環境の向上、閲覧端末の多様化を受け、公式WEBサイトでの情報発信とあわせて、SNS（Facebook、Instagram）で魅力的な情報をタイムリーに発信するとともに、滞留時間延長につなげるべく、観光モデルコースや体験メニューページを充実させた。（Facebook 4,837人、Instagram 4,188人）</div> <div>・【再掲】萩市観光協会公式ホームページ（宿泊、食、体験ページ等）の英語版を強化した。</div> <div>・【再掲】プロモーションアドバイザー研修を実施した。</div>									

魅力ある歴史・文化・自然をいかしたまちづくり	主 な 取 組	インバウンドの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【再掲】PR動画によるプロモーション ⇒ 萩市の魅力を動画配信サイト上で発信し、アフターコロナ期に速やかに観光需要を取り込めるよう準備した。</li> <li>・外国人観光客の回復・多様化する観光需要への対応 ⇒ 萩市国際交流員の方に協力いただき、Facebook（英語）「Visit HAGI」を運用し、季節の情報などを発信した。</li> <li>・【再掲】インバウンド受入環境整備支援事業 外国人観光客の満足度の向上を図る取組みを支援するため、レストランのWi-Fi整備、館内表示の多言語化、トイレの洋式化等の整備に対する経費の一部を助成</li> <li>・【再掲】外国人観光客誘客促進 ⇒ ①まちじゅう博物館、②着物、③GI萩の清酒、萩焼・萩往還の3つのテーマで、外国人旅行者向け旅行プラン造成し、OTAへのコンテンツ掲載・販売、スマホ位置情報データを活用した広告、訪日外国人向けアプリを活用した広告、SNSを活用した広告、京都駅・広島駅での情報発信を実施した。</li> <li>・【再掲】インバウンドプロモーション ⇒ <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界160の国や地域の約3億6,000万世帯で視聴可能であるNHKの国際サービス「NHKワールドJAPAN」の番組「CATCH JAPAN」で萩まちじゅう博物館をコンセプトにサムライが闊歩した城下町や体験、食に関する情報を放送した。</li> <li>・フランスのJapan in Motionで、世界遺産をコンセプトに地元名産品とともに旅番組スタイルで放送した。</li> <li>・新山口駅のデジタルサイネージ掲出した。</li> <li>・萩市観光協会公式ホームページの英語版を強化（宿泊、食、体験ページ等）した。</li> <li>・萩往還、長門峡の英語版散策マップを作成した。</li> <li>・クルーズ客船の寄を港支援した。</li> </ul> </li> <li>・IoTなどを活用した新サービスの創出等の支援 ⇒ クレジットカード・電子マネー決済機器等を整備した。</li> </ul>	<p>【KPI④】令和6年度は、前年度に比べ若干減少したが、動画での配信やSNSでの配信、広告によるWEBサイトへの誘導などにより目標を上回る高水準を維持した。</p> <p>【KPI⑤】目標値には届かなかったが、魅力的な情報をタイムリーに発信することで、年々、フォロワー数は増加した。</p> <p>【KPI⑥】令和5年3月に石見交通、まぁーるバス及びスーパーはぎ号、また、令和6年2月に防長交通にICOCAシステムが導入され、萩市内のすべてのバス路線でICカードが利用可能となったことから、22.5%と増加した。スーパーはぎ号のICカード利用者率は42.4%に対し、路線バス及びまぁーるバスは利用率が低かったことから、市民のICカードの利用促進が課題となっている。今後も利用促進を図るためPRに努める。</p>
		アクセスの充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・萩－新山口間直行バスの運行助成 ⇒ JR新山口駅と萩を結ぶ直行バススーパーはぎ号の運行事業者に対し補助を行い、運行を継続させた。</li> </ul>	
	⑦その他全般的事項			
主 な 取 組		萩・明倫学舎の整備・活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【再掲】3号館市民ギャラリーの活用 ⇒ 令和6年度来館者 7,426人</li> </ul>	



項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析		
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)		
6 生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	KGI：市民アンケートによる満足度指標		向上	-	30.7%	34.2%	29.2%					
	KGI：市民満足度の向上（満足されていない方の割合）		10.0%	20.9%			21.6%	18.4%			8.4%	
	※第3期萩市総合戦略の策定に当たりR5年度実績により検証を行ったため、R5年度で終了											
	【KGI分析】令和5年度には目標値の10%に対して18.4%となり、現状値から2.5%改善した。この項目は、主には交通網、生活サービス、公共インフラ、防災体制、環境といった生活環境基盤に関する施策の満足度を測るものである。交通網や離島航路、道の駅の充実といった分野は生活に直結するものであるが、萩市では離島から本土への移動といった地理的課題や、高齢化の進行を踏まえた移動手段の確保、買い物ができる場所の確保といった課題があり、これらの項目の指標は高めに推移している（「暮らしに密着した交通網の形成」の項目 R2：29.7%→R5:30.9%、「生活サービス機能の維持・向上」の項目 R2：27.1%→R5:20.6%）。また、道路や上下水道などのインフラの老朽化や、増加する危険な空き家への対策などの環境整備のほか、命を守る防災対策、ごみ減量化などの取組といった分野についても、同様に生活に与える影響が大きいことから、住民生活に不便を生じることのないよう、必要な施策を進めていく。											
	①暮らしに密着した交通網の形成											
	KPI①：ま ぁーるバス利用者数（年間）		238,000人	213,943人	155,791人	159,563人	154,113人	135,259人	134,720人		-103,280人	【KPI①～②】ま ぁーるバスの利用 者数は令和5年度に比べて減 少している。令和4年度に停留 所の増加や8の字運行を実施 し、中心部への移動時間短縮を 行うなど利便性の向上を図って いるが、コロナ以降の観光利用 が回復していない状況である。 ぐるっとバスは、地域内の移動 手段として運行しており、すべ ての地域においてデマンド運行 が開始するなど、利便性が向上 し、利用者数が増加傾向にあ る。引き続き、豊かな暮らしを 創る交通ネットワークの構築を 目指し、令和4年10月から新た なルートで運行を開始した ま ぁーるバスの定着化とぐるっ とバスの利用促進を図る。
	KPI②：ぐるっとバス利用者数（年間）		24,000人	13,383人	23,295人	23,610人	24,705人	25,216人	23,676人		-324人	
	主 な 取 組	持続可能な公共交通ネットワークの形成										
		・地域巡回バスの運行 ⇒ 交通空白地域を含め、地域内の移動手段として、利便性の向上を図りながらぐるっとバスを運行した。 ・交通ネットワークの再構築 ⇒ 路線バス撤退に伴い、地域内の移動手段を確保するため、生活バス、乗合タクシーを運行した。 ・総合時刻表等の作成										
		市内巡回バスの維持・充実										
・ま ぁーるバスの運行 ⇒ ・運行支援事業補助、利用促進事業補助など実施し、市民、市外来訪者の市街地における移動手段としてま ぁーるバスを運行した。 ・運行ルートを見直し、新ルートでの運行を開始した。												
地方バス路線の維持・充実												
・地方バス路線の補助 ⇒ ・交通事業者へ路線バスを維持するための支援として補助金を支出した。 ・利用者の利便性向上による利用促進を図るため、交通事業者が導入する交通系ＩＣカードシステムに補助金を支出した。												
離島航路の維持・充実												
・離島航路等への補助 ⇒ ・事業者へ離島航路を維持するための支援を実施した。 ・航路運賃低廉化事業を行った。												

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
6  生活 基盤 の充 実し た住 みよ いま ちづ くり	②生活サービス機能の維持・向上										
	KPI①：道の駅の来訪者数（年間）		2,614,000人	1,965,000人	2,177,849人	2,304,039人	2,515,339人	2,429,299人	2,295,749人	-318,251人	【KPI①】 コロナの影響が緩和するにつれ客足も増加傾向にあったが、令和6年度については減少している。周知することで利用促進を図る。  【KPI②】 令和6年度末時点で53.2%となり目標を達成した。金融機関支店の統合や大型商業施設の移転に伴う集約により、目標達成となった。今後人口の減少が進む中、都市サービスの提供を確保するため、立地適正化計画の見直しを図るとともに居住の誘導を図る施策を検討していく。  【KPI③】 令和4年度からKPIを達成している。9基の携帯基地局を整備し、不感エリアを大幅に解消することができた。今後も国の補助金等の利用を含め、各キャリアへ要望を行っていく。
	KPI②：都市機能誘導区域内における誘導施設の集積率		49.0%以上	49.0%	49.0%	51.1%	51.1%	51.1%	53.2%	4.2%	
	KPI③：携帯電話不感エリアの夜間人口		1人	60人	7人	2人	1人	1人	1人	人	
	主 な 取 組	小さな拠点づくりの推進									
		・道の駅等の整備 ⇒ 道の駅「あさひ」の駐車場拡張工事を実施した。【再掲】									
		都市計画等の策定・推進									
		・都市計画マスタープラン等の見直し ⇒ 長期的な視点に立った都市の将来像や土地利用方針、都市施設の整備方針等の都市計画に関する基本的な方針を定めた「萩市都市計画マスタープラン」を令和5年3月に改訂した。									
		情報通信基盤の向上									
		・携帯電話エリアの整備 ⇒ 携帯電話の不感地帯を解消するため要望を行うとともに、整備した伝送路等を通信事業者に貸与し、基地局施設等の維持管理を行った。 ・光ファイバーの整備 ⇒ 光ファイバー網の維持管理を行った。									

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
6 生活 基盤 の充 実し た住 みよ いま ちづ くり	③持続可能で快適な環境づくり										
	KPI①：公共下水道整備率		95.0%	76.6%	77.6%	90.6%	92.2%	92.9%	93.2%	-1.8%	【KPI①】事業の財源となる国庫補助金が要望額より減額となったことから、事業の進捗が遅れ、目標値に届かなかった。今後も早期整備に向けて努めている。 【KPI②】国・県の事業の進捗が遅れ目標値に届かなかった。今後も管路の耐震化率の向上に努めていく。 【KPI③】空き家所有者に対し、助言や指導を継続的に行った結果、解消件数は目標を達成できた。所有者等が対応が困難な物件については、代執行による除却を実施し、市民の安全確保にもつながった。 【KPI④】目標達成に必要な予算が確保できなかった事及び物価高騰により、目標値の未達となった。
	KPI②：水道管路の耐震化率		14.3%	12.0%	12.9%	13.2%	13.5%	13.8%	14.0%	-0.3%	
	KPI③：市内老朽危険空き家解消件数（累計）		230件	128件	175件	202件	253件	302件	330件	100件	
	KPI④：側溝のがたつき解消（延長）（累計）		1.25km	-	0.18km	0.31km	0.4km	0.47km	0.61km	-0.64km	
	主 な 取 組	公共施設等の維持管理									
		・萩市公共施設等長寿命化計画の運用 ⇒ 中長期的な視点により公共施設に求められる機能等を確保し、財政負担の軽減及び平準化や長寿命化を図るための萩市公共施設等長寿命化計画に基づき、計画的な改修・改築等を実施した。									
		上下水道設備の維持管理									
		・水道事業 ⇒ 配水管等の更新及び移設工事、配水池整備事業に伴う工事の実施、監視設備や機械設備の更新工事を実施した。 ・下水道事業 ⇒ 萩市公共下水道事業計画に基づき整備を進めた。									
		道路施設、河川の維持管理									
		・河川の維持管理 ⇒ 河川浚渫計画を作成し、計画的に浚渫を実施している。計画的に護岸改修も実施中である。 ・道路施設の維持管理 ⇒ 側溝整備計画を作成し、計画的に側溝整備を実施している。舗装・交通安全施設についても、計画的に実施している。									
		適正なごみ処理の推進									
		・萩・長門清掃一部事務組合負担金 ⇒ ごみの適正処理や減量、資源化を推進する萩・長門清掃工場はなもゆの運営等に係る経費を負担した。 ・漂流、漂着ごみの一掃事業 ⇒ 萩市海岸線の景観美化及び環境保全を図るため、海岸に漂着したごみの回収・処理を行った。									
	空き家対策の推進										
	・老朽危険空き家除却促進事業補助金 ⇒ 悪影響が高い空き家について、適正管理を行うよう助言等を行った。危険空き家の解体工事等の経費を支援した。 ・＜新規＞行政代執行による老朽危険空き家除却										
民間木造住宅耐震化の推進											
・民間木造住宅耐震診断、耐震改修の促進 ⇒ 民間木造住宅の耐震化向上を目的に、耐震診断を行った。											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
6  生活 基盤 の充 実し た住 みよ いま ちづ くり	④防災体制の強化										
	KPI①：自主防災組織による訓練実施地区数（旧小学校区）		21地区	5地区	2地区	1地区	3地区	9地区	4地区	-17地区	【KPI①】 自主防災組織による訓練地区実施件数は、21地区の目標値に対し、4地区（江向四区、椿、船津、大井）で実施したのみとなった。これは、実際に自主防災組織として活動している地区が少ないのが原因である。今後は、実際に活動出来る自主防災組織を自治会等に結成していただくため、出前講座や各種研修会、自主防災リーダー研修会などを定期的に開催し、自主防災組織の普及啓発に努める。  【KPI②】 消防団員の実情に合わせ、量より質の高い訓練を実施し、目標値も達成できた。また、大規模災害へ向け、常備消防との総合訓練の実施を行った。次年度からは、方面団に管轄を超えた活動を主に訓練を実施する予定である。
	KPI②：消防団員の教育・訓練の実施件数（年間）		135回	113回	78回	61回	102回	216回	172回	37回	
	主 な 取 組	地域防災力の向上									
		・ 地域防災マネージャーの設置 ⇒ 防災訓練の立案と実行、住民への啓発活動、防災計画の見直し、災害発生時の関係機関との連携強化のため、設置した。 ・ 防災リーダーの育成、訓練の実施 ⇒ ・ 地域防災マネージャーを活用して、地域防災リーダー養成研修、ステップアップ研修を実施した。 ・ 萩市防災訓練を実施した。									
		避難所機能、防災設備の充実									
		・ 避難所の機能強化 ⇒ 非常食、毛布、アルミマット、間仕切り、発電機、携帯電話用マルチ充電器等を整備した。									
		消防機能の強化									
	・ 消防団員の訓練 ⇒ 常備消防との総合訓練や消防操法訓練、各分団ごとに必要な教育・訓練、各研修等に参加し、消防力の強化に努めた。 ・ 共同運用による通信指令体制の充実・強化 ⇒ 萩市、山口市、防府市における消防通信指令業務の共同運用に向け消防指令センター共同整備事業（事業期間：令和4年度～令和7年度の3年目）を実施した。										

【KPI①】自主防災組織による訓練地区実施件数は、21地区の目標値に対し、4地区（江向四区、椿、船津、大井）で実施したのみとなった。これは、実際に自主防災組織として活動している地区が少ないのが原因である。今後は、実際に活動出来る自主防災組織を自治会等に結成していただくため、出前講座や各種研修会、自主防災リーダー研修会などを定期的を開催し、自主防災組織の普及啓発に努める。

【KPI②】消防団員の実情に合わせ、量より質の高い訓練を実施し、目標値も達成できた。また、大規模災害へ向け、常備消防との総合訓練の実施を行った。次年度からは、方面団に管轄を超えた活動を主に訓練を実施する予定である。

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
6 生活 基盤 の 充 実 し た 住 み よ い ま ち づ く り	⑤地球にやさしい環境づくり										
	KPI①：ごみリサイクル率		28.0%	22.0%	23.9%	21.5%	21.3%	21.8%	19.8%	-8.2%	【KPI①】未達成の要因としては、特にコロナ禍以降、子ども会や町内会を中心とした集団回収の活動が半減したためとみている。また、ごみの分別方法やリサイクルの必要性などの周知を図る。  【KPI②】達成の要因としては、エコプラザで開催される各種講座等が好評で主婦層を中心に参加者が多いためとみている。  【KPI③】策定時より削減したが、未達成の要因としては、事業者に対して周知を図ることが不十分だったことが考えられる。
	KPI②：エコプラザ萩の来場者数（年間）		10,500人	10,000人	8,559人	8,104人	10,840人	11,488人	11,330人	830人	
	KPI③：清掃工場に搬入される事業系ごみ量（年間）		4,454t	4,688t	4,713t	4,789t	4,634t	4,904t	4,534t	80t	
	主 な 取 組	ごみ減量化の推進									
		・啓発講座等の開催 ⇒ 定期講座及び各種リサイクル講座を開催した。映像・看板による啓発活動を実施した。 ・3Rの促進 ⇒ 補助金等の支出により、生ごみの減量化と古紙の再生促進を行った。不用品の再生、販売を行った。									
低炭素（地球温暖化対策等）の取組の推進											
		・緑のカーテンの育成 ⇒ 日差しを和らげ、エアコンの使用抑制を図る。PRのため、市役所本庁舎に緑のカーテンを育成した。									



項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
7  だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち、 求 め ら れ る ま ち づ く り	KGI：市民アンケートによる満足度指標		向上	-	19.7%	19.8%	18.8%				
	KGI：市民満足度の向上（満足されていない方の割合）		10.0%	11.3%			11.7%	12.7%		2.7%	
	※第3期萩市総合戦略の策定に当たりR5年度実績により検証を行ったため、R5年度で終了										
	【KGI分析】令和5年度には目標値の10%に対して12.7%となった。この項目は、主にはコミュニティづくり、移住・定住、文化・スポーツの推進、地域振興、離島振興、DXといった魅力ある地域づくりに関する施策の満足度を測るものである。指標は10%台前半と目標値に近いが、「萩の魅力をいかした移住・定住」（R5:16.2%）、「DXによる幸せなまちづくり」（R5:13.7%）の項目が他項目と比較し、高い傾向にある。移住相談件数や萩市への移住者数は増加しているが、人口減少の進む地域への移住定住者の増加が課題の1つである。また、令和4年度からDXによる幸せなまちづくりの項目を追加し、行政手続の利便性の向上や業務時間の削減を図っている。施策の効果が広く住民にいきわたるよう努めていく。										
	①市民との協働による元気なコミュニティづくり										
	KPI①：市民活動センター「結」の利用者数（年間）		10,700人	10,698人	9,216人	8,903人	10,082人	13,256人	13,146人	2,446人	【KPI①】令和5年度の実績値から110人の減少となった。主な理由として、「ハロウィンたまち＆結まつり」の来場人数が前年より300人減少したことで、僅かながら減少となったと思われる。目標人数は達成しており、引き続き、田町商店街との連携事業を行うとともに、市民活動連携講座等を通じて、団体同士や市民をつなげる活動を展開していく。  【KPI②】令和6年度の実績値は39.1%で目標値40%に達していないものの、市関係各課に対し継続的に女性の登用を呼びかけることで、39%台の高い数値を保っている。萩市男女共同参画プラン（第3次改訂版）において、計画の指標として40%を掲げていることから、引き続き、庁内各課に対して積極的な女性登用を依頼していく。
	KPI②：審議会等への女性委員の参画率		40.0%	38.5%	37.8%	38.1%	39.4%	39.1%	39.1%	-0.9%	
	主 な 取 組	自治組織等との協働の推進									
		・コミュニティの推進 ⇒ 町内会等運営費補助金、地区集会所建設費補助金、広報等配布事務費交付金、防犯外灯設置費補助金を支出した。 ・行政推進員の設置 ⇒ 地区住民と行政との連絡調整を行うため、各町内会等に行政推進員を設置した。									
		市民活動団体の活動推進									
		・市民活動センターの管理運営 ⇒ 市民活動の振興とネットワークづくりの推進を図った。									
		男女共同参画の推進									
		・女性団体の支援 ⇒ 萩市女性団体連絡協議会を設置し、市内女性団体の相互連携を図ることで、女性の社会参画を推進した。 ・女性相談に係る取組 ⇒ ・女性相談窓口に女性相談員を配置し、解決に向けた支援を行った。暴力の予防を目的として啓発活動や情報提供を行った。 ・さまざまな暴力の予防教育として、出前講座を実施した。 ・男女共同参画社会の推進 ⇒ 令和4年3月に策定した萩市男女共同参画プラン（第3次改定版）に基づき男女共同参画を推進した。									
		消費者行政の推進									
		・消費者行政の推進 ⇒ 消費生活相談員を配置し、消費者被害の未然防止と救済、トラブル解決に向けた支援を行った。消費者意識の啓発及び消費者教育の充実を図るため、出前講座を実施した。 ・消費者の育成 ⇒ 消費生活モニターを委嘱した。消費生活モニター通信を発行し、HPへの掲載等を行った。									
		安心・安全対策の充実									
		・広聴に係る取組 ⇒ 無料法律相談、消費生活無料相談を実施した。萩法律相談センターの運営経費に対し補助金を支出した。 ・交通安全の啓発 ⇒ 各種媒体を活用して広報活動を行った。交通安全運動を積極的に推進するため、関連機関へ補助金を支出した。 ・防犯対策 ⇒ ・安全安心推進員を設置し、地域住民の要望、意見、相談に対応した。関係機関と共同で広報啓発及び実践活動を行うため、負担金を支出した。 ・うそ電話詐欺等の被害の未然防止のため、防災メールによる情報配信を行った。									
	地域コミュニティ組織の活動支援										
	・萩地域コミュニティへの補助 ⇒ 萩地域子ども会育成連絡協議会及び婦人会の活動に対して補助をした。 ・魅力ある地域づくり交付金 ⇒ 環境美化活動、敬老会行事、生涯学習発表会、スポーツ行事等に対して、地域の裁量により用途を決定できる交付金を交付した。										



項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
7  だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、  求 め ら れ る ま ち づ く り	②萩の魅力をいかした移住・定住										
	KPI①：移住相談件数		910件	528件	721件	910件	1020件	1108件	1208件	298件	【KPI①、②】令和6年度は52世帯95人の移住があり、移住相談件数についても、1,217件であった。いずれも過去3番目に高い数字となっている。ポータルサイトでは、空き家バンクの物件をVRを使って内覧できるようにするなど、利便性の向上を図るとともに、移住支援員や移住就業コーディネーターが住まいや仕事の支援においても丁寧に対応したことが結果につながっていると分析する。  【KPI③】隊員の退任後の定着率は、全国で68.9%（令和6年5月1日時点）となっており、萩市においては、全国を上回る70.5%となった。要因としては、地域おこし協力隊の着任前の体験ツアーの実施や、現地面談などにより、隊員と受入地域のマッチングを丁寧に行うとともに、地域に定住した元協力隊員による現役隊員の相談に応じる仕組み等により、円滑な活動実施と地域との連携が図られたことにより、退任後の定着率の高さに繋がっているものと分析する。
	KPI②：定住相談窓口を通じた移住世帯数（累計）		530世帯	251世帯	339世帯	398世帯	449世帯	500世帯	552世帯	22世帯	
	KPI③：地域おこし協力隊員の退任後の定着率		70.0%	50.0%	73.9%	67.7%	68.6%	67.4%	70.5%	0.5%	
	主 な 取 組	移住相談体制の充実									
		・はぎポルトー暮らしの案内所一運営 ⇒ 移住支援員3名を配置し「空き家情報バンク」による空き家の利活用を図るとともに、新たに移住就業コーディネーター1名を配置し、移住者の相談にきめ細かく対応し、円滑な移住を支援した。また、ローカルエディター2名を配置し、地域と関わりたい人と地域を繋ぐために、ローカル情報の発信を行った。  ・空き家情報バンク利用促進 ⇒ 新たに萩市住定住情報ポータルサイトをオープンし、バーチャル内覧や、オンライン申請など利便性の向上を図った。									
		移住体験の推進									
		・お試し暮らし住宅の管理運営 ⇒ お試し暮らし体験のできる2施設を管理運営した。  ・萩暮らし体験ツアーの実施 ⇒ 既存の観光コンテンツとは一味違う「ヒト」「モノ」「コト」に出会う旅「萩・人に出会う旅」を実施した。									
		移住者向け住環境の整備									
		・各種移住支援制度 ⇒ 移住支援のための各種補助制度を多様な媒体を活用し情報発信した。									
		地域おこし協力隊の活動・定着の推進									
		・地域おこし協力隊の設置 ⇒ 令和6年度に退任し4名のうち3名が萩市に定住した。  ・地域おこし協力隊体験ツアーの実施 ⇒ ミスマッチをなくすため、事前にミッション及び萩暮らしを体験するツアーを実施した。									
		関係人口の創出									
		・関係人口構築の促進 ⇒ 移住スカウトサービスSMOUTを活用し、地域課題の解決に必要な人材の確保に取り組んだ。									
移住者の就業・創業の推進											
・はぎビズの活用 ⇒ 伴走型の事業者支援を行うはぎビズを介して、移住者の創業を支援した。											
農山漁村交流の推進											
・萩市農山漁村交流プロジェクトの推進 ⇒ 第一次産業の資源を活用した訪日外国人と農山漁村の交流事業に取り込む萩市ふるさとツーリズムを推進した。											

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
7  だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち、  求 め ら れ る ま ち づ く り	③市民一人ひとりが輝くまちづくり										
	KPI①：公民館の実施する講座・教室等の参加者数（年間）		12,000人	11,918人	6,023人	5,365人	7,281人	9,687人	10,880人	-1,120人	【KPI①】 令和2年度及び3年度はコロナ感染拡大防止の観点から公民館活動を縮小し、大きく参加者数が減少している。令和4年度から徐々にコロナ禍前の活動内容に戻していることから、参加者数も増加傾向にあるが、目標値までは届かなかった。  【KPI②】 コロナが5類に移行され、スポーツイベントや大会への参加者数が徐々に増加傾向にあるものの、参加費の増加、コロナの長期化によるスポーツ離れの影響を受け、目標値を達成できなかったものとする。今後、より工夫をすることで参加者数をコロナ前の水準に戻していく取組が必要となる。  【KPI③】 累計で6,747人の実績となった。移動図書館の巡回時や10ヶ月児健康相談などで未就学児の読書通帳の登録を勧め、卒園後も読書通帳を活用してもらえよう利用促進に努めた。今後もNPO萩みんなの図書館との協働で読書普及のための行事や展示を継続して行う。
	KPI②：スポーツイベントの参加者数（年間）		6,000人以上	5,700人	200人	1,546人	2,504人	3,371人	3,175人	-2,825人	
	KPI③：読書通帳登録者数		6,300人	5,222人	5,832人	6,090人	6,319人	6,546人	6,747人	447人	
	主 な 取 組	文化イベントの開催や文化活動の普及・振興									
		・芸術文化の振興   ⇒   ・萩市美術展を開催した。全国大会に出場した団体、個人に対して助成した。 ・文化公演「講談・落語会」等を開催した。 ・令和4年9月にオープンした萩市民ギャラリーの利用促進を図り、来館者数の増加に努めた。 ・読書の普及   ⇒   講座やイベント等を実施し、読書通帳、電子図書館、貸出カードの新規登録につなげた。									
		スポーツイベントの開催、生涯スポーツの普及									
		・スポーツ振興の補助   ⇒   実行委員会による萩城下町マラソン・萩市駅伝競走大会・萩往還ワンデーウォークを開催し、スポーツ振興、健康増進を図った。									
		地域コミュニティの拠点施設、文化施設、スポーツ施設の管理運営									
		・各種施設の運営、維持管理   ⇒   ・公民館の各種学級や講座の開設等を行った。 ・萩市民館等の維持管理等を行った。 ・図書館の運営   ⇒   NPO萩みんなの図書館と市の協働により運営した。									
		東京2020オリンピック・パラリンピック（ホストタウン）レガシーの継承									
		・生涯スポーツの推進   ⇒   萩市の特色のあるカヌー競技を推進するためカヌー体験教室を実施した。									
		人権啓発、人権教育の推進									
		・人権の心をはぐくむ市民の集いの開催   ⇒   人権の花運動活動報告、人権講演会等を開催した。 ・人権教育の推進   ⇒   市内を巡回して行う研修や、体験、交流活動等を主とした研修を実施した。指導者養成の講座を開催した。									
		社会参加支援の推進									
		・ひきこもり支援の推進   ⇒   世代を問わない「ひきこもり」に特化した相談受付窓口の周知・運営を行った。 ・子ども、若者への総合支援   ⇒   学習支援や就労支援などの支援を行うため、居場所づくりを実施した。就学、就労など社会参加や社会的自立に向けた支援を行う萩市子ども・若者総合サポート会議を運営した。									

項目		R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)	
				R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比		
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	④地域の特色をいかしたまちづくり										
	KPI①：夢プランに基づく実証事業の実施件数		28事業	18事業	22事業	24事業	25事業	25事業	28事業	0事業	【KPI①、②】目標値は超過しているものの未着手の計画も多くある。コロナ禍の期間中、感染拡大防止のため、長期間にわたり取組を休止せざるを得ない状況が続き、その間、地域住民の高齢化等によるマンパワー不足が進行したほか、物価高騰等の影響もあり、取組の実施又は継続が困難となった地区が発生している。夢プランは住民主体の活動計画であるが、今後も取組を継続できるよう、各地域の必要に応じたプランの支援を行う必要がある。
	KPI②：夢プランの事業化と事業の継続件数		12事業	0事業	14事業	15事業	20事業	20事業	27事業	15事業	
	主 な 取 組	地域振興計画「夢プラン」の策定、推進									
		・夢プランに係る取組 ⇒ 夢プランに基づく実証事業を実施した。夢プランの事業化と事業の継続を実施した。									
		魅力ある地域づくりの推進									
		・魅力ある地域づくり交付金 ⇒ 環境美化活動、敬老会行事、生涯学習発表会、スポーツ行事等に対して、地域の裁量により用途を決定できる交付金を交付した。 ・花を活用した交流人口拡大の推進 ⇒ 交流人口の拡大のため、各地域に花を植栽した。									
	特色をいかした交流の推進										
	・佐々並地区交流促進施設の活用 ⇒ 佐々並市にある市所有の伝統的建造物を改修整備した佐々並地区交流促進施設「みなくる」を活用し、地域内民間団体による子育て世帯の交流促進活動及び、他地区からの移住定住促進の取り組みを支援した。										

項目			R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析	
					R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比	(達成・未達要因、成果・課題等)	
7  だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	⑤魅力ある離島の発展											
	KPI①：見島・大島・相島の水産物水揚量（年間）			3,500t	3,303t	2,559t	3,070t	3,730t	3,957t	3,789t	289t	【KPI①】 令和6年度の水揚量は前年と比較すると減少したが、目標値を上回る成果となった。水揚げの大部分を占める回遊魚（あじ・さば・ぶり類）の水揚量の変動を確認していくとともに、磯根資源（サザエ等）を回復させるために、種苗放流や藻場保全を推進する必要があると考えられる。今後も漁業者への効果的な支援や水産資源の保全、漁場生産力の向上等を推進していく。  【KPI②、③】 大島・相島・見島の各人口の減少や新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、離島航路利用者数は策定時よりも減少となった。貨物輸送量については、人口減少の影響に加え、各離島での公共工事等が減少したものと推測される。相島航路については、令和5年8月に新船フェリーが就航し、旧船よりも多くの貨物輸送が可能となったため、移動販売等、新たな貨物の輸送が見込まれる。
	KPI②：離島航路利用者数（年間）			160,000人	147,000人	110,959人	126,232人	121,912人	120,776人	119,484人	-40,516人	
	KPI③：離島航路貨物輸送量（年間）			6,500t	6,000t	4,453t	4,737t	4,871t	4,712t	4,733t	-1,767t	
	主 な 取 組	離島高校生の修学支援										
		・ 離島高校生の修学支援 ⇒ 離島に住む高校生の保護者に、本土への通学費や居住費などを対象とした修学に係る経費を支援した。										
		離島航路の維持										
		・ 離島航路の維持 ⇒ 離島において必要不可欠な離島航路を運営する事業者への支援を実施した。										
		離島の漁業振興										
	・ 離島漁業再生支援交付金 ⇒ 離島の漁業再生等を図るため、漁業の生産力の向上等の取組を行う漁業集落を支援した。											
特定有人国境離島の支援充実												
・ 見島の産業振興 ⇒ 特定有人国境離島地域社会維持推進交付金を活用し、見島の戦略産品の移出及び原材料等の移入に係る輸送費の一部を支援した。												
大島複合施設の整備												
・ 大島複合施設の整備 ⇒ 行政、地域コミュニティ、医療、福祉の拠点となる大島複合施設は、令和3年11月に竣工した。												



項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	⑥D Xによる幸せなまちづくり										
	KPI①：オンライン申請が可能な手続件数	70件	8件			11件	56件	108件	38件	【KPI①】令和6年度末までに108件の実績があり、目標を達成した。令和4年5月からLoGoフォーム、令和5年4月から萩市オンライン申請マイナポータルサイトを展開し、令和7年1月から消防関係の手続にe-Govが導入され、大幅にオンライン申請が可能な手続件数が増えた。また、萩市公式HP上にある、問い合わせフォームを活用している部署もあり、そこも件数に計上した。今後、オンライン申請の入口を1か所にまとめる。引き続き市民サービスの利便性の向上を目指す。  【KPI②】令和2年度から現在に至るまで50業務に活用し、削減効果は1,807時間となった。目標に対する進捗は90.4%となった。今後もRPA導入による効果が見込める業務について、積極的に活用していく。	
	KPI②：R P A 導入による業務削減時間（年間）	2,000時間	324時間			1,306時間	1,734時間	1,807時間	-193時間		
	主 な 取 組	行政手続きのオンライン化等による市民サービスの利便性の向上									
		・行政手続きのオンライン化拡充 ⇒ ・LoGoフォーム等の利用により、オンライン申請が可能な手続件数が増加した。 ・萩市のホームページを改修し、オンライン手続のバナーをトップページに移行することにより、オンライン申請画面に容易に辿り着けるようにした。また、施設予約システムを構築した。									
		行政事務の効率化									
	・D X 推進体制の構築・運用 ⇒ 全庁的にD X を推進するため、組織横断的に協議を行う会議を開催するとともに、各部局にD X 推進員を配置した。 ・R P A 業務の拡充 ⇒ 令和2年度から現在に至るまで50業務に活用を実施し、削減効果は1,807時間となった。 ・情報システムの標準化 ⇒ 国が定める標準仕様に適合するシステムの操作研修や運用テストを行い、円滑に移行ができる環境と準備を整えた。										

項目	R6年度 目標値	策定時の値	実績					数値比較	KPI分析 (達成・未達要因、成果・課題等)		
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	目標比			
7 だ れ か ら も 愛 さ れ る ま ち 、 求 め ら れ る ま ち づ く り	⑦その他全般的事項										
	KPI①：都市・国際交流事業の参加者数（年間）		500人	300人	165人	40人	461人	443人	446人	-54人	【KPI①】 コロナに対する規制がなくなり、講座や交流会等の参加者数も回復傾向にある。引き続き、国際交流員を活用しながら、交流活動を推進していく。  【KPI②】 マイナンバーカードと医療保険証の紐づけが本格化し、手続を行う住民が増え、カード申請・交付が増えたため令和6年度に目標を達成した。
	KPI②：マイナンバーカード交付率		88.1%	12.9%	31.6%	47.7%	75.5%	83.7%	92.9%	4.8%	
	主 な 取 組	都市・国際交流の推進									
		・都市交流 ⇒ 国内の姉妹都市や友好都市等との交流事業を実施した。 ・国際交流 ⇒ 国際交流員による英語講座、異文化交流会等を実施した。									
		市民サービスの利便性向上									
		・利便性の高い証明発行等 ⇒ 越ヶ浜郵便局で、公的証明書の交付に加え、国民健康保険や飼い犬の登録の受付など10業務の行政サービスを受けられるようにした。 ・受付の延長 ⇒ 毎週木曜日午後7時までと3月最終と4月最初の日曜日は市民課窓口の受付を延長した。									
		マイナンバーカードの普及と活用									
		・個人番号カードの交付 ⇒ 出前講座や出張申請受付、窓口での無料写真撮影を実施し、申請を支援した。 ・各種証明書のコンビニ交付									